

はじめに

「農山漁村活性化事例集(H27)」

農林水産省は、内閣官房とともに「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図る「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」を実施しました。

第2回目となる平成27年度については、全国から683団体(九州からは83団体)の応募があり、平成27年9月30日に27団体(九州から2団体)が「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として選定されました。

九州から応募があった83団体については、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」に選定された2団体を含め、「美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承」、「幅広い分野・地域との連携による農林水産業・農山漁村の再生」、「国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現」等に向け、他地区の取組の参考になるものです。

このため、九州から応募のあった83団体の取組について、このほど「農山漁村活性化事例集(H27)」としてとりまとめ、公表することとしました。九州の各地域において、この事例集も参考にして頂き、地域活性化、所得向上への取組が広まり、加速化していくことを期待します。

平成28年1月

九州農政局農村振興部農村計画課

農山漁村活性化事例集 事例一覧

【九州農政局】

番号	都道府県	市町村	団体名	※該当する取組みの分類
1	福岡県	北九州市	箸休め ゆず香	③ ④ ⑬
2		福岡市	特定非営利活動法人グラウンドワーク福岡 法人番号 6290005003443	① ⑩ ⑱
3		久留米市	城島町土地改良区	① ⑤ ⑭
4		八女市	八女地域連携協議会	③ ⑬ ⑲
5		八女市	星野村農産加工施設「星の里」利用組合	⑬ ⑱ ⑳
6		豊前市	枝川内あじさい祭り実行委員会	① ③ ④
7		福津市	あんずの里市利用組合	④ ⑮ ⑳
8		うきは市	山里ひめはる連絡会	④ ⑩ ⑳
9		那珂川町	南畑地域活性化協議会(通称:南畑ぼうぶら会議)	① ④ ⑳
10	佐賀県	唐津市	藤野集落	① ④ ⑳
11		多久市	社会福祉法人もやいの会 法人番号 5300005006288	⑫ ⑬ ⑰
12		鹿島市	株式会社 七浦 法人番号 7300001004954	⑧ ⑭ ⑯
13		鹿島市	七浦地区振興会	③ ⑮ ⑰
14		鹿島市	北鹿島ふるさと会	① ⑩ ⑳
15		小城市	江里山棚田米生産組合	① ② ③
16		白石町	川津資源保全隊	① ④ ⑳
17	長崎県	長崎市	高島町ブルーリズム促進協議会	① ③ ⑰
18		長崎市	社会福祉法人 出島福祉村 法人番号 1310005001457	⑬ ⑮ ⑰
19		佐世保市	大宮・西海食の交流協議会	④
20		諫早市	社会福祉法人じゅもん会 法人番号 3310005004417	⑫ ⑰ ⑳
21		平戸市	根獅子集落機能再編協議会	① ④ ⑬
22		松浦市	一般社団法人 まつうら党交流公社 法人番号 4310005006453	② ③ ⑩
23		壱岐市	壱岐東部ITで海女の伝統をつなぐ会	② ④ ⑱
24		南島原市	一般社団法人 南島原ひまわり観光協会 法人番号 1310005007314	③ ⑧ ⑩
25		波佐見町	波佐見町都市農村交流協議会	④ ⑦ ⑩

番号	都道府県	市町村	団体名	※該当する取組みの分類
26	長崎県	小値賀町	特定非営利活動法人 おちかアイランドツーリズム協会 法人番号 3310005004020	⑩
27	熊本県	熊本市	河内おに嫁ブランド推進協議会	⑩ ⑬ ⑱
28		八代市	やつしろ菜の花ファーム987	⑦ ⑩ ⑭
29		玉名市	小袋山薬草の会 ★全国選定事例	④ ⑥ ⑪
30		菊池市	NPO法人きらり水源村 法人番号 5330005002904	④ ⑩ ⑰
31		阿蘇市	公益財団法人 阿蘇グリーンストック 法人番号 6330005008082	① ② ⑥
32		合志市	「合志あぐっと！村」運営協議会	⑩ ⑮ ⑳
33		美里町	水上迫生活研究グループ	② ④ ⑮
34		美里町	美里フットパス協会	① ③ ⑱
35		高森町	ひごむらさきブランド化研究会	④ ⑮
36		高森町	阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会	② ⑫
37		甲佐町	宮内炭窯生産組合	① ② ⑩
38		山都町	NPO法人 山都のやまんまの会 法人番号 8330005009021	② ⑤ ⑬
39		山都町	水増ソーラーパーク管理組合	⑬ ⑭ ⑳
40		山都町	菅 地域振興会	① ③ ⑩
41		五木村	五木村にんにく生産組合	⑬
42		球磨村	田舎の体験交流館さんがうら運営委員会	① ④ ⑩
43		あさぎり町	中山間松尾集落	① ⑬ ⑳
44	大分県	大分市	国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会	② ⑨
45		日田市	大明工区資源保全組合	① ⑤ ⑩
46		臼杵市	うすきツーリズム活性化協議会	③ ④ ⑩
47		宇佐市	深見地区まちづくり協議会	⑦
48		宇佐市	下森山環境保全組合	① ⑤ ⑦
49		豊後大野市	大野町みどり保全隊農地・水・環境保全管理協定運営委員会	①
50		九重町	九重健美の里づくり協議会	③ ④ ⑩
51	宮崎県	都城市	有限会社 徳重紅梅園 法人番号 6350002014123	① ② ⑬
52		小林市他	北きりしま田舎物語推進協議会	⑧ ⑩ ⑱
53		日向市	庄手榎木地区農地水環境部会	① ⑧ ⑳

番号	都道府県	市町村	団体名	※該当する取組みの分類
54	宮崎県	串間市	笠祇地区	① ② ④
55		綾町	綾町錦原台地地域づくり推進協議会	③ ⑭
56		高鍋町	四季彩のむら	① ② ⑩
57		高鍋町	染ヶ岡地区環境保全協議会	① ③ ⑭
58		西米良村	西米良うめえもん研究会	④ ⑦ ⑨
59		高千穂町	農業生産法人 おたに家 株式会社 法人番号 4350001007501	① ⑫ ⑬
60		高千穂町	高千穂ムラたび協議会	③ ④ ⑬
61		五ヶ瀬町	特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校 法人番号 1350005003383	① ⑤ ⑧
62		鹿児島市	特定非営利活動法人鹿児島有機農業協会 法人番号 1340005001586	⑧ ⑩
63		鹿屋市	南清水川水利組合活動組織	① ② ⑧
64	鹿屋市	ひらぼうほたるの里 ひらぼうほたる飛ばせ隊	① ⑤	
65	鹿児島県	阿久根市	折多校区の自然を守る会	⑦ ⑨ ⑲
66		薩摩川内市	峰山地区 コミュニティ協議会	① ⑥ ⑩
67		薩摩川内市	大馬越地区コミュニティ協議会	⑬
68		薩摩川内市	薩摩川内市グリーン・ツーリズム推進協議会	④ ⑩
69		薩摩川内市	湯田地区資源保全組合	⑬ ⑭ ⑲
70		曾於市	株式会社メセナ末吉 曾於市観光特産センター 法人番号 4340001014903	② ③ ④
71		曾於市	高松地域活動隊	① ② ⑧
72		霧島市	佳例川地区自治公民館	② ④
73		いちき串木野市	萩元前団地環境保全会	② ⑤ ⑦
74		志布志市	野井倉南部保全協議会	① ⑤ ⑱
75		南九州市	田部田をまもり隊	① ⑤ ⑩
76		南九州市	南薩力発揮推進協議会	② ⑤ ⑨
77		南九州市	NPO法人頼娃おこそ会 法人番号 1340005006172	③ ⑩ ⑭
78		さつま町	中津川区むらづくり委員会	① ② ⑲
79		南大隅町	社会福祉法人 白鳩会 ★全国選定事例 法人番号 5340005006573	⑬ ⑰ ⑱
80		屋久島町	有限会社 キャノッピ屋久島 法人番号 1340002019846	① ③ ⑲

番号	都道府県	市町村	団体名	※該当する取組みの分類
81	鹿児島県	大和村	大和村食農プロジェクト推進協議会	④ ⑬ ⑱
82		喜界町	喜界町アンテナショップ事業推進協議会	③ ⑭ ⑳
83		伊仙町	阿権むらづくり委員会	① ② ⑦

※★全国選定事例

内閣官房及び農林水産省において、「ディスカバー農山漁村の宝」の応募事例(全国683事例)の中から農山漁村活性化の優良事例として選定された事例(全国27事例、平成27年9月30日公表)。

取組みの分類別索引

取組みの区分	事例数	事例の番号															
		2	3	6	9	10	14	15	16	17	21	31	34	37	40	42	
①自然・景観	35	43	45	48	49	51	53	54	56	57	59	61	63	64	66	71	
②伝統・継承	20	15	22	23	31	33	36	37	38	44	51	54	56	63	70	71	
③観光	19	1	4	6	13	15	17	22	24	34	40	46	50	55	57	60	
④「食」の提供・活用	25	1	6	7	8	9	10	16	19	21	23	25	29	30	33	35	
⑤子ども	10	3	38	45	48	61	64	73	74	75	76						
⑥ボランティア	3	29	31	66													
⑦学校・企業	8	25	28	47	48	58	65	73	83								
⑧食育	8	12	24	52	53	61	62	63	71								
⑨教育	4	44	58	65	76												
⑩農林漁業体験	24	2	8	14	22	24	25	26	27	28	30	32	37	40	42	45	
⑪研修	1	29															
⑫就労	4	11	20	36	59												
⑬6次産業化	18	1	4	5	11	18	21	27	38	39	41	43	51	59	60	67	
⑭農工商連携	9	3	12	28	39	55	57	69	77	82							
⑮地産地消	6	7	13	18	32	33	35										
⑯輸出	1	12															
⑰医療・福祉	7	11	13	17	18	20	30	79									
⑱定住・移住	2	2	46														
⑲女性の活躍	8	5	23	27	34	52	74	79	81								
⑳農業被害防止	1	43															
㉑IT	1	32															
㉒ネットワーク	1	82															
㉓復興	3	5	8	65													
㉔その他	12	4	7	9	10	14	16	20	39	53	69	78	80				

1 福岡県 北九州市

はしやす か 箸休め ゆず香

～収穫されないユズでの地域興し～

箸休め ゆず香(味3種:ピター・ミディアム・マイルド)



経緯

- 当地区は、里山が多くどの農家もユズを栽培しているが、高齢化等で、その多くが未収穫の状態。
- 未収穫のユズを活用し、食べ継がれた味を元にして、日本で唯一の特産品づくりを思いついた。

取組内容

- 農家からの直接購入や所有者の許可を得ての収穫で原料を確保。料理上手な奥さんと地元の加工施設で開発・製造。
- 実を果皮・果肉・果汁に分けて加工し、控えめの砂糖とわずかの塩で煮込みジャム状にして、地元で食べ継がれた味を再現。商品名「箸休め ゆず香」で販売。

活動の成果

- 平尾台自然の郷、合馬農産物直売所などのほかJR新幹線小倉・博多駅コンコースでも販売。H26年は約1300個を完売。H27年秋からは北九州空港でも販売。
- 消費者には「甘さと塩加減のバランスが絶妙でまね出来ない美味しさ」など高い評価。

今後の方針

- 手作りのため生産量の拡大には限度があり、数量限定、季節限定の販売でブランド価値をさらに高める。
- 平尾台、道原菅生の滝、合馬竹林公園など地域の観光資源の広報活動もを行い、観光振興を図る。

花生 直樹(はなお なおき)

北九州市小倉南区志井鷹羽台25-6 Tel : 093-961-5273 Fax : 同左

2 福岡県 福岡市

特定非営利法人グラウンドワーク福岡

法人番号 6290005003443

～八女市上陽町芋焼酎プロジェクト～

収穫作業に参加した企業ボランティア



実行委員会



経緯

- 平成22年に中山間地域である八女市上陽町で当法人が事務局となって地域づくりに向けた住民参加のワークショップを実施。
- 地域課題に取組むためには、資金が必要とのことから「地域ブランドの焼酎づくり」が提案されたのが始まり。

取組内容

- 耕作放棄地を活用し、地元住民と都市住民との協働でさつま芋を作り、地元の酒造場で芋焼酎を製造。
- 芋焼酎の売り上げの一部を「地域の豊かさ基金」として積み立て、地元へ還元する取り組み。

活動の成果

- 企業のCSR活動と連携・協働が生まれ、収穫作業には都市部からのボランティアが約50名ほど参加。
- 平成22年から25年度までに積み立てた基金30万円を平成26年10月に八女市へ寄付。

今後の方針

- 平成26年度以降の基金積み立てについては、独自の助成金制度を作り、上陽町のまちづくり活動を支援していく予定。
- 町の社会的、公益的活動を支援する事で、基金を地元へ還元していく。

特定非営利活動法人グラウンドワーク福岡

福岡市博多区美野島2丁目16-8日大ビル1階 Tel : 092-414-1234 Fax : 092-414-1155

3 福岡県 久留米市

じょうじままち 城島町土地改良区

～豊かな環境を次世代へ繋ぎ元気な町づくり！～

暗渠排水の施工



小学生によるEMだんごづくり



経緯

- 過疎化・高齢化に伴い、農業のみならず農道や用排水路の適切な維持管理も困難となり、地域活力が低下。
- 農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を支える地域活動を土地改良区で後押し出来ればと活動を展開。

取組内容

- 麦・大豆や野菜等の作付拡大の為、平成24年度から3ヶ年で、暗渠排水を637haで実施。
- 水路の草刈等の維持管理、景観保全活動のほか、小中学校と連携してEM菌活用による水路の浄化を推進。

活動の成果

- 暗渠排水により、降雨後に短時間で農作業が開始出来るようになり、麦・大豆・野菜等の収穫向上が実現。
- 環境保全や水質浄化の取組みは各種団体と連携して進めており、地域全体の環境保全に対する意識が向上。

今後の方針

- EM培養液の配布や管内の講習会への案内により、浄化活動が市全域に広がるよう協力していきたい。
- 城島産の酒米山田錦で作った新酒「榮」が誕生しており、この取組が広がるよう土地改良区も協力していきたい。

城島町土地改良区

福岡県久留米市城島町櫛津743番地2 Tel: 0942-62-2100 Fax: 0942-62-3732

4 福岡県 八女市

やめちいき 八女地域連携協議会

～八女にIKOKA～地域を活かした交流事業～

ツアーバス



体験プログラム・キウイ収穫



経緯

- 市町村合併により新市に点在する景観、食、歴史、人など地域資源を活用した観光事業の推進が必要となった。
- 平成25年に第3種国内旅行業の取得により着地型旅行商品の企画販売が可能となり、プログラム開発に着手。

取組内容

- 農業、伝統工芸、自然等の体験プログラムをメインに、八女限定の39の旅行商品を企画、実施。
- 福岡市中心地に開設したアンテナショップ八女本舗で、農産品の直売と併せて旅行商品の募集販売を実施。

活動の成果

- 各地域の観光ツアーを連携させ、定期的な巡回バスツアーの運行や体験プログラム実施により、来客数が増加。
- アンテナショップで農産品の試食や生産者の直売イベントと併せて旅行商品を販売し、効果的な集客ができた。

今後の方針

- 八女人ガイド(現地案内人)の数を増やし、定期的なツアーバスを運行させ、着地型旅行商品の企画販売を予定。
- 今後、他地域にも広げ、地域独自の観光資源や文化、伝統、農産品等を活用した旅行商品の開発を進める。

八女地域連携協議会

福岡県八女市本町2-129 Tel: 0943-23-1192 Fax: 0943-22-7311

5 福岡県 八女市

ほしのむら ほし さと 星野村農産加工「星の里」利用組合

～夜はお星さまが輝き昼はおばしちゃん達が輝く～



経緯

- 平成元年、農産加工センター「星の里」を建設、転作大豆のみそ加工を中心に加工品づくりを推進。
- 高齢化により活動が停滞したため、平成23年新商品を開発。組合員の再募集を図り、現在52名で活動。

取組内容

- 新商品の乾燥野菜「ほしのほしやさい」を始め、みそ、漬け物、ジャム、菓子等85種類を加工、直売所等で販売。
- 組合員の92%を占める女性は、自宅にも加工場を設け、加工品目の拡大を図るなど活躍。

活動の成果

- 星野村で生産された農産物の加工・販売が定着。星野村の個人所得向上、野菜生産の増など地域活性化に貢献。
- 加工品づくりが活発化し、個人の販売許可9名、集落で加工場を建設するなど女性起業が誕生。

今後の方針

- 乾燥野菜を拡大し、高齢者の活動の場を広げるとともに、原料の野菜生産など地域農業振興に取り組む。
- 災害時の非常食や病人食、高齢化社会の食材等乾燥野菜の種類を増やし、販路拡大を図る。

星野村農産加工施設「星の里」利用組合
福岡県八女市星野村4540

Tel : 0943-52-2204 Fax : 0943-52-2214

6 福岡県 豊前市

えだがわうち 枝川内あじさい祭り実行委員会

～ちいさな村の大きな挑戦！ 枝川内あじさい祭り～



経緯

- 基盤整備が完了し、山間地特有の大きな法面が生じ、花を見ながら草刈りすれば楽になるとあじさいを植栽。
- 平成26年までに、約1万4千株のあじさいを植栽。都市住民との交流を図るため「枝川内あじさい祭り」を開催。

取組内容

- あじさいの植栽にあたっては、中山間直払制度等を活用、また、活動参加者、苗木の里親を新聞等活用し募集。
- あじさい祭りでは、フォトコンテスト、ウォークラリー、「あじさい米」など農産物販売、そば打ち実演・販売を実施。

活動の成果

- あじさい祭り来訪者(4000名)等へ地区の情報を発信。他のイベント、施設等への来訪者が増加。
- 祭りで、そば打ちの実演・販売やそばを使った団子汁提供を通じて、新たな特産品「求菩提そば」も販売。

今後の方針

- あじさい植栽日本一10万株を目指し、継続的に植栽を行いながら、積極的な情報発信を行い交流人口を増やす。
- あじさいや森林セラピーを利用し、地区の温泉施設や近隣観光スポットへのウォーキングコースを設置。

枝川内あじさい祭り実行委員会
福岡県豊前市大字大河内301-3

Tel : 0979-88-2002 Fax : 0979-88-2002

7 福岡県 福津市

さといち あんずの里市利用組合

～オンリーワンの価値を付加し、賑わいを創出する～

3月のイベント「あんず祭り」



給食野菜配達先の中学生考案メニュー



経緯

- 「あんずの里」は開店20年を迎え、近隣の直売所等の出店などにより、地元からの出荷量、客数、売上が減少。
- 「あんずの里」の活性化、交流拠点としての機能強化、地域農漁業者の後継者問題等への取組みに着手。

取組内容

- 専門家による売場、運営等の調査、利用者調査、イベントを通じた外部の意見の把握を経て、改善策をとりまとめ。
- 学校給食や地域のレストラン等に食材提供、長野県松本市の道の駅との野菜や果物等の補完を行う交流。

活動の成果

- 消費者のニーズに合った店舗のレイアウトができ、福岡市や北九州市からのお客が増え好評を得ている。
- 売り上げの増加に伴い、生産者に還元できるようになり、生産意欲の向上につながっている。

今後の方針

- 福津市の観光拠点として、地域の文化・風習・旬が感じられる直売所、地域の拠り所となることを目指す。
- 古参の直売所が抱える種々の問題の解決に向け、ヒントとしてもらうべく当組合の活動を紹介していきたい。

あんずの里市利用組合

福岡県福津市勝浦1667-1

Tel : 0940-52-5995 Fax : 0940-52-5999

8 福岡県 うきは市

やまざと 山里ひめはる連絡会

～個々の魅力を束ね山里ひめはるの魅力発信！～

共同の案内看板



体験メニューを紹介した情報誌



経緯

- 当地区は「つづら棚田」等の景勝地でギャラリー、レストラン、ヤマメ料理専門店、農家民宿等の10店舗が立地。
- 来訪者に地域の魅力を紹介するとともに、各店舗に立ち寄ってもらえるよう連携して取組むため、当会を設立。

取組内容

- 各店舗を含む見どころを示したMAPづくり、共同の案内看板のデザインと設置、情報誌「山里ひめはる」の発行。
- 地域資源を活かした体験メニューを各店舗で企画。それを紹介した「山里ひめはるSTYLE」も継続的に発行。

活動の成果

- 共同案内板や情報誌発行により、毎年数万人が訪問。棚田の彼岸花めぐり等の後に来店者が増加。
- 「山里ひめはるSTYLE」の発行により各店舗の体験メニューに毎回20～30名が参加。リピーターも増加。

今後の方針

- 客足をさらに伸ばし、地域の野菜や果樹の消費拡大により地域活性化に繋げる。
- 景勝地である当地への移住希望者も多いことから、移住者の新店舗開設等を当会が支援。

山里ひめはる連絡会事務局

福岡県うきは市浮羽町朝田582-1 Tel : 0943-76-9059 Fax : 0943-77-5557

9 福岡県 那珂川町

みなみはた 南畑地域活性化協議会

～南畑、この元気はオレらがつくる～



経緯

- 福岡市中心部より車で30分の中山間地域。町長とのタウンミーティングで地域活性化への提案があり、検討会設置。
- 平成25年行政區長が当協議会を立ち上げ。地域活性化プロデューサー、行政、地域おこし協力隊員と共に活動。

取組内容

- 南畑に住む農林家、飲食店経営者やガラス工芸、染織、陶芸、画家等の芸術家を紹介した「南畑の本」を発行。
- 芸術家のアトリエ訪問、陶芸体験、農産物直売等のイベント「南畑美術散歩」を開催。これらの情報をFacebookで発信。

活動の成果

- 「南畑の本」は3万部発行し、町外者の関心と呼び、地元出身者がふるさとを再認識するなどの効果。
- 「南畑美術散歩」は、延べ2000名の来場者があり、イベント後に南畑への移住の問合せが増加。

今後の方針

- 当協議会の主力イベントとして「南畑美術散歩」を行い、福岡都市圏、県外からの移住者、交流人口の増をめざす。
- 郷土料理を商品化しブランド力を付けて活性化に繋げる。ホームページも作成し、常に新しい情報を発信する。

南畑地域活性化協議会(通称:南畑ぼうぶら会議)
那珂川町大字不入道283番地4 Tel: 092-952-9243 Fax: 092-953-0068

10 佐賀県 唐津市

わらびの 蕨野集落

～先人が残した貴重な宝(棚田)を守ろう!～



経緯

- 蕨野の棚田は先人達が苦労を重ねて残してくれた集落の宝であるが、農家の高齢化等で耕作放棄地が増加。
- 集落ぐるみで棚田米の生産・販売や都市住民との交流イベントを行う組織を設立し、棚田保全活動を展開。

取組内容

- 佐賀大生と連携して耕作放棄地を復田。企業等の協力を得て、ボランティアによる耕作放棄地の草刈活動を推進。
- 特別栽培米の認証を受け、「棚田米蕨野」として販売。3月、6月、10月に棚田を活かしたイベントを開催。

活動の成果

- イベントに多くの都市住民が訪れ、蕨野の棚田のファンが多くなり、ブランド米「棚田米蕨野」の売上が増加。
- 直売所の女性会員による手作りの加工品の販売に伴い、高齢者の生きがいづくりやふれあう機会が増加。

今後の方針

- 蕨野の棚田は規模の大きさ等から、棚田では初めて国の「重要文化的景観」に選定。全国でも注目されている。
- 県内外からの視察も多く、蕨野集落の取組の情報発信を行い、棚田を通じた新たな絆づくりを行う。

唐津市 相知市民センター 産業課
佐賀県唐津市相知町相知2055-1 Tel: 0955-53-7125 Fax: 0955-62-2573

11 佐賀県 多久市

社会福祉法人もやいの会

法人番号 5300005006288

～働きたいをカタチに トマト植物工場を障害者の職場に～



経緯

- 理事長は、多久市の寺院の住職。廃校の活用事業公募に応募。当会が事業者として選定。
- 平成25年に小学校校舎の無償譲渡を受け、トマト養液栽培施設、菓子工房の整備を行い、障害者雇用に着手。

取組内容

- トマトの養液栽培で月に約3トンのミディ・トマトを生産し、地域のスーパー、産直市場、福岡市のデパート等へ出荷。
- トマトの出荷不能品を活用し、シフォンケーキを菓子工房にて製造。トマトの乾燥、製品の包装などに障害者が従事。

活動の成果

- トマト溶液栽培では、就労継続支援A型の6人の障害者に、県の最低賃金の時給を、支払うことが出来ている。
- 就労継続支援B型の利用者13人には、菓子工房の収益ほか学校敷地の清掃などで賃金を支払っている。

今後の方針

- 旧小学校は2階建て延べ床面積3650㎡の規模で余裕があり、利用者を現在の2倍程度にまで増やす計画。
- トマトハウスと菓子工房のコラボレーションで、トマト・シフォン、ドライトマトに続く、新たな6次化商品を開発したい。

社会福祉法人もやいの会

佐賀県多久市南多久町下多久6103-2 Tel : 0952-76-4600 Fax : 0952-76-4620

12 佐賀県 鹿島市

株式会社 七浦

ななうら

法人番号 7300001004954

～“鹿島海苔物語”を世界ブランドに～



経緯

- 地区住民組織である「七浦地区振興会」の対外的事業を受け持つのが当社であり、「道の駅鹿島」を管理・運営。
- 世界的に和食の良さが見直される中、有明海産海苔の販路を、国内から海外へと拡大するための戦略を構築中。

取組内容

- 香港でスーパーを展開する「シティスーパー」とタイアップし、のりドレッシング「鹿島海苔物語」等の売り出しを検討中。
- 本年3月には「JNTO(日本政府観光局)」から「外国人観光案内所」の認定を受け、3か国語のパンフ配布等に取組。

活動の成果

- 有明海産の海苔が販路拡大に成功すれば、安心・安全な日本の農産物が海外へと飛翔する事が望める。
- また、疲弊する農山漁村を効果的に再生する事もでき、人口の流出に歯止めを掛ける事が見込まれる。

今後の方針

- 当社の“鹿島海苔物語”戦略が成功すれば、市内他地区の振興会等に当社の取組みをPRし、他地区の活性化にも寄与したい。
- そのために、他地区の良質の農水産物(お宝)発掘を展開して行きたい。

道の駅鹿島

佐賀県鹿島市大字音成甲4427-6 Tel : 0954-63-1768 Fax : 0954-63-1788

13 佐賀県 鹿島市

ななうらちく 七浦地区振興会

～まえ海と干菜(せんじゃ)を活かした地域づくり～



経緯

- 昭和60年に当地で開催された干潟のオリンピック「ガリンピック」が「むらおこし」の動機付けとなり、当会を結成。
- 地域住民が構成員であり、地域資源や伝統文化を活用した地域振興を積極的に推進。

取組内容

- 農水産物直売所「干菜市」を平成4年にオープン。地元農漁業者が生産した農産物、有明海の手巻、魚介類等を販売。
- ガリンピックを毎年継続して開催。修学旅行や家族向け干潟体験や伝統漁撈「棚じぶ」体験等の受入れを展開。

活動の成果

- 「干菜市」は後に「道の駅鹿島」に認定され、販売額は約3億円になり、生産者の意欲も増大し、所得も向上。
- 年間約13,000人が訪れる干潟体験や農業体験、伝統漁撈体験、有明海の味覚体験など都市農村交流が促進。

今後の方針

- 干潟体験を行う修学旅行生の滞在メニューを増やすため、民泊事業の展開を模索。
- 直売所を拠点として地域の買物弱者に対し、商品の無料宅配サービスに加え、日用品等も合わせて取組む。

七浦地区振興会

佐賀県鹿島市大字音成甲4427-6 Tel: 0954-63-1768 Fax: 0954-63-1788

14 佐賀県 鹿島市

きたかしま 北鹿島ふるさと会

～故郷の農村環境は ふるさとで守ろう～



経緯

- 本地域は、地区の中心に歴史のある「柳瀬水道」が流れ、それを水源に米麦や施設園芸が盛んな農業地帯。
- この水路や農地・土地改良施設等を守るため、農地・水・環境保全向上対策事業に地域一体となって活動。

取組内容

- 「柳瀬水道」を中心に水路の泥上げ、草刈り、農道の砂利補充、水路の補修等を実施。
- 環境保全活動は、小学校と連携した水質浄化、「田んぼの学校」の支援、山林の下草刈り等「海の森事業」を実施。

活動の成果

- 農地・水路・道路の適切な維持管理ができ、集落内での話し合いが増え、効率的な水利用にも役立っている。
- 体験学習などを通じ、「柳瀬水道」を歴史ある地域資源として次の世代へ伝えていこうという意識が高まった。

今後の方針

- 今後は環境保全活動にさらに力を入れ、子供達との交流等を通じ、地域農業の歴史や伝統を次世代に伝えたい。
- 隣接地「肥前鹿島干潟」がラムサール条約の湿地に登録されたため、それを活用した活動も行っていきたい。

北鹿島ふるさと会

佐賀県鹿島市山浦甲1564-2 Tel: 0954-63-2853 Fax: 0954-63-5087

15 佐賀県 小城市

えりやまたなだまい 江里山棚田米生産組合

棚田と彼岸花の里 江里山

自生の彼岸花



県特別栽培認定の棚田米



経緯

- 当地域は棚田(14ha)を利用した稲作中心の農業が営まれてきた。
- 平成8年に村ぐるみ運動への取り組みがきっかけとなり、棚田米のブランド化や都市との交流に取組むため、当組合(戸数29戸)を平成13年に設立。

取組内容

- 毎年「彼岸花祭り」を開催。棚田コンサートなどのイベントと合わせて「さしみこんにゃく」や野菜、棚田米等を販売。
- 米は低たんぱくの甘みがある良質米。特別栽培米の認定、低温貯蔵庫、色選機等の導入でブランド化を推進。

活動の成果

- 彼岸花祭りの来訪者は年々増加。農産物販売に伴う農家収入の増加により地域活性化を図ることができた。
- 棚田米は直売所中心の販売から、テパ―トやホテル等へ販路の拡を図るなどブランド化に成功。

今後の方針

- 減反田を利用し野菜(ブロッコリー、スイートコーン)の栽培を行うことで新たな地域農業の育成を図る。
- 地域ぐるみで農地や水路等の保全管理に取り組むとともに、生産効率を上げるため農業用機械の共同化を図る。

江里山棚田米生産組合

佐賀県小城市小城町岩蔵4844 Tel: 0952-72-4677 Fax: -

16 佐賀県 白石町

かわづ 川津資源保全隊

～40年ぶりに蘇った地区の宝「縫ノ池(ぬいのいけ)」～

「縫ノ池」の清掃活動



縫ノ池での生き物調査



経緯

- 地下水の過剰汲み上げが改善され、平成14年、約40年ぶりに「縫ノ池湧水」が復活。以後、湧水を守る活動や地域住民の交流イベント等を開催。
- 平成18年に農地・水環境保全向上対策のモデル地区に選定。活動を集落全体に拡大。

取組内容

- 縫ノ池や水路の除草及び泥土浚渫は、農業者、湧水会、子供会、女性部会、老人会等が一体となって実施。
- 池や水路の生き物調査、子供達による魚釣り大会、湧き水を使った「お茶会(野点)」など多彩なイベントを開催。

活動の成果

- 縫ノ池の湧水の復活により、地域住民が水の大切さを再認識するなど資源保全の意識が高まった。
- 地域全体の多くの活動により、大人から子供まで地区内の結びつきが強まり、新たな地域コミュニティが形成。

今後の方針

- 縫ノ池や水路の浚渫、清掃作業に子供達も参加させ、水路に棲息する淡水魚と営農活動の関わり等の理解促進や水辺環境の保全に努める。
- 湧水を使ったイベントに都市住民の参加を積極的に促し、交流を深める。

川津資源保全隊

佐賀県杵島郡白石町大字湯崎2402-イ Tel: 0952-84-4130 Fax: -

17 長崎県 長崎市

たかしままち 高島町ブルーツーリズム促進協議会

～医療と福祉の限界を「農」で超える挑戦～



経緯

- 市中心部から南西14.5kmに位置する旧炭鉱の島。平成22年より珊瑚や熱帯魚を活かしたツーリズムに着手。
- 平成26年より、地域資源を高齢者のリハビリ資源に活用するなど医療と福祉への取組に着手。

取組内容

- 水中景観をシュノーケリングで楽しめる体験メニューや旧高島炭鉱等の観光とヒラメ料理を提供するバック商品を展開。
- 福祉農園の創設、介護施設に提供する作物栽培、医療と連携し在宅医療ができる環境整備を推進。

活動の成果

- シュノーケリング体験期間は4月末～11月上旬で、来島者の受入れ期間が大幅に延長。体験民宿開業で宿泊客も大幅増。
- 海水温浴施設など島全体がリハビリ資源との意識改革に向け、離島医療専門医の講演により島民の意識が向上。

今後の方針

- 「シュノーケリングピクニック」という名称を商標登録。これはロコストでできる差別化手法であり、他地域に広めたい。
- 医療・福祉との連携は、地域の環境や条件で変化するが同じ課題であり、解決策の創造で他地域に貢献したい。

高島町ブルーツーリズム促進協議会
長崎県長崎市高島町2707番地12 Tel : 095-896-3510 Fax : 同左

18 長崎県 長崎市

でじまふくしむら 社会福祉法人 出島福祉村

法人番号 1310005001457

～農と福祉で地域創生～



経緯

- 平成14年に市南部の旧三和町にて、身体障がい者授産施設を開設し、特産びわを活用した授産事業をスタート。
- びわ茶、びわの種(粉末)、ジャムなど多彩な加工品づくりと直売事業を展開。近年は洋菓子製造・販売に着手。

取組内容

- 原料びわは近隣農家から買取るとともに、耕作放棄地を障がい者の訓練の場に活用し、びわ、イチジクなど栽培。
- びわ茶等の商品加工やグラバー園に近接する直売所でも障がい者が販売するなど就労訓練として実施。

活動の成果

- びわの加工販売事業の拡大により、提携農家は100戸に及び、当法人の雇用者数もH25年の56名から76名に増加するなど地域活性化に貢献。
- 地域との連携で交流が生まれ、「びわの木まつり」を開催するまでに拡大。

今後の方針

- 特産びわをふんだんに使ったスイーツやお茶の加工・販売を、障害を持った方々が担う「農と福祉の連携」を全国的なモデルとしてさらに発展させる。
- 地元では知名度や関心が高まっているが、今後全国的なPRに取組む。

社会福祉法人出島福祉村
長崎県長崎市岩川町2番3号 Tel :095-844-0022 Fax :095-848-0022

19 長崎県 佐世保市

おおみや さいかい

大宮・西海食の交流促進協議会

～買い物弱者対策と農業の活性化～



大宮地区でのマルシェ



消費者を生産地に招いて収穫体験

経緯

- 佐世保市大宮地区は階段の多い地形条件や地元市場の衰退により高齢者等の買い物弱者が多い。
- このため、農業が盛んな西海市西海地区から大宮地区の高齢者等に農産物の宅配等を行う取組に着手。

取組内容

- 大宮地区の地元市場の来客者等を対象に食材購入等の状況を調査。西海地区の食材を活用したメニューを検討。
- 大宮地区で試験的なマルシェを開催するとともに、西海地区に消費者を招いた収穫体験を実施。

活動の成果

- 大宮地区は高齢者の孤食が多いなど消費者の状況を把握。西海地区のジャガイモを活用したレシピを作成。
- 試験的なマルシェの開催により、西海地区の広告宣伝を行うことで、認知度も高まり、来客者の増につながった。

今後の方針

- 大宮地区においては、買い物弱者を対象とした宅配食やマルシェ等を開催し、流通量拡大と来店者増加に繋げる。
- 大宮・西海地区両地区の生産者・消費者を繋ぐ催し(マルシェ・見学ツアー等)を開催し、交流の増加を図る。

株式会社 海の駅船番所

長崎県西海市西海町横瀬郷3550-3 Tel : 0959-32-2345 Fax : 0959-29-4121

20 長崎県 諫早市

社会福祉法人じゅもん会

法人番号 3310005004417

～地域と福祉とエコを結ぶ 福祉農園整備(整備事業)～



ハウス施設の内部



パッションフルーツの緑のカーテン設置例

経緯

- 平成18年頃より、地域の農業者の協力を得ながら障がい者に野菜づくりを体験してもらう活動を開始。
- 野菜苗、切り花などの生産拡大に取組み、パッションフルーツ苗の安定生産を図るため25年度にハウス施設を整備。

取組内容

- 車いすでの利用を可能とするハウス内のスロープ等を整備。凍結防止による安定生産を図るため温度管理を自動化。
- 販売は地域の直売所を拠点に、関東・関西都市圏を中心にイベントや大手企業など全国規模で販売を展開。

活動の成果

- 障がい者でも作業可能な安定した生産環境が得られ、農作業に携わる者は、整備前7名から整備後14名に倍増。
- 福祉から就労という流れに向けて、作物の栽培作業による賃金増加という点で一定の成果。

今後の方針

- さらに障がい者に参加してもらえよう農作業の魅力の周知PRや、農作業の賃金の増加などを図る。
- 収益性をさらに改善するため、ハウス内の品種見直しを実施し、単価アップ、歩留のさらなる向上を図る。

社会福祉法人 じゅもん会

長崎県諫早市小船越町680-1 Tel : 0957-25-3300 Fax : 0957-25-3233

21 長崎県 平戸市

ねしこ 根獅子集落機能再編協議会

～根獅子発！小さな集落の小さな循環型プロジェクト～

棚田オーナーとの稲刈り体験交流



冬の一大イベント食まつり



経緯

- 根獅子町は平戸市中部に位置し、過疎化が進む地域。平成7年に地元有志により子供体験交流等に着手。
- さらなる活動の展開を図るため、平成19年に根獅子4集落189戸で当協議会を立ち上げ、多彩な取組を実施。

活動の成果

- 過疎化の中、住民の「自らの町は自らが創る」自治意識が高まり、郷土に生きることに誇りを感じている。
- 食まつり等での女性の料理づくり、農作業体験での高齢者による参加者の指導など住民の活躍の場が増えた。

取組内容

- 棚田の稲作体験による大学との交流、荒廃農地活用でヒツジ牧場の毛刈りイベントなど多彩な交流活動を展開。
- 郷土料理を集めた「食まつり」、おせち料理販売、オーナー制による棚田米の酒造りなど食を活用した取組みを展開。

今後の方針

- 販売力の向上とともに、ピワ・棚田米・じゃが芋・玉葱を核に更なる特産品づくりを進め、自主財源の確保を図る。
- 郷土食を提供する農家民宿や農家レストランを開設し、根獅子ファンのリピーターを全市的なファンに拡大。

根獅子集落機能再編協議会

長崎県平戸市根獅子町1840 Tel : 0950-28-2075 Fax : 0950-28-2075

22 長崎県 松浦市

一般社団法人 まつうら党交流公社

法人番号 4310005006453

～農家、漁家のありのままの日常生活を満喫する体験観光～

命の尊さを学ぶ和牛農家体験



危機管理も学ぶシーカヤック体験



経緯

- 松浦市は、地域活性化の方策を模索するなか、農林漁業を体験メニューとし、民泊を提供する体験型観光に着目。
- 松浦市をはじめ北松浦半島地域において、中高生の体験型修学旅行の受入れを平成15年より開始。

活動の成果

- 平成15年の受入は、不安があったが、生徒さんの生き生きとした表情や感謝の言葉に、受入側も喜びを覚えた。
- そのことが、周辺地域にも伝わり受入組織、受入地域とも拡大し、現在の体制を確立。年間160校3万人を受入れ。

取組内容

- 500戸の受入農漁家は地域ごとに組織された14の受入組織に加入。当公社は学校・旅行社の窓口として活動。
- 体験メニューは農林漁業、田舎料理、伝統工芸、シーカヤック等のアウトドアスポーツなど80種類のメニューを提供。

今後の方針

- 関係者の高齢化が進むことは仕方がないことであり、それを補完する新たな関係者の確保が必要。
- この事業は長崎県北部地域で実施してきたが、隣接の佐賀県にエリアを広げ関係者の開拓を行っている。

一般社団法人 まつうら党交流公社

長崎県松浦市志佐町浦免1808番地1 Tel : 0956-27-9333 Fax : 0956-27-9334

25 長崎県 波佐見町

はさみちょう 波佐見町都市農村交流協議会

～地元食材を活かした食のツアーの実施～



経緯

- 主産業の窯業の生産額の減少、農業も高齢化が進む中、平成17年より陶芸と農業を組合せた体験ツアーに着手。
- 波佐見の魅力の発信と都市住民との交流の中で食の磨き上げを行うため、当協議会を平成25年に設立。

活動の成果

- 食を通して地元の良さを伝えあう活動が根付き、陶農体験は年間を通したプログラムとして定着しつつある。
- 陶農体験の受入を行っていた婦人グループが手作り味噌と棚田の米を使ったおにぎり屋を開業。

取組内容

- 料理人を招いた料理教室を開催。波佐見の器と地域の食材を使った家庭でもできる料理を婦人グループが実習。
- 陶芸と農業の23の体験メニューによる都市住民のモニターツアーを実施。昼食は地域住民と交流しつつ地元の食を提供。

今後の方針

- 集落をあげてのグリーンクラフトツーリズムの実施による交流人口の増加、農産物の都市部への直売をめざす。
- また、集落の連携の強化による景観づくり、加工施設整備、特産品の開発をめざす。

NPO法人グリーンクラフトツーリズム研究会
長崎県波佐見町折敷瀬郷2124番地 Tel.:090-8832-0496 Fax.:0956-85-2052

26 長崎県 小値賀町

特定非営利活動法人 おぢかアイランドツーリズム協会

法人番号 3310005004020

～島暮らし体験～



経緯

- 交流人口増による島の活性化を図るため、平成10年から行政中心に自然体験活動と環境教育の取組を開始。
- 宿泊先の確保等のため、平成19年に観光協会、自然学校、民泊組織により当協会を設立し、体験型民泊を推進。

活動の成果

- 体験型民泊により、交流人口が増加し、特産品等の販売も促進されるなど町全体の活性化に大きく貢献。
- 地域に伝わる食文化や生活文化、島の魅力を再発見し、来島者へ伝えることで郷土愛が生まれた。

取組内容

- 平成13年から開催の「宝島キャンプ」は豊かな自然の中で、シーカヤックや魚釣り等島ならではの体験プログラムを提供。
- 農林漁家11軒が体験民宿開業許可を取得するとともに、古民家を改修し、体験民宿施設4軒を整備。

今後の方針

- 島で癒しを求める大人層をターゲットとした体験交流事業を推進し、新規の交流人口の拡大に繋げる。
- 体験交流事業の農林・水産・商工業などの町経済への波及を促し、互いに連携のとれた観光業の推進を目指す。

特定非営利活動法人 おぢかアイランドツーリズム協会
長崎県小値賀町笛吹郷2791-13 Tel.:0959-43-3170 Fax.:0959-56-3530

27 熊本県 熊本市

かわち よめ 河内おに嫁ブランド推進協議会

～おに嫁が生き生き暮らす町～



みかんの花摘みイベント



「ハワフルおに嫁」の口をつけた加工商品

経緯

- 熊本市西区河内町は海と山に囲まれ、みかん、芳野梨、海苔など農業・漁業が盛んな地域。「河内みかん」の産地。
- 当団体は平成24年より、「ハワフルおに嫁」のブランド名で加工品の開発販売や都市住民との交流事業等を推進。

活動の成果

- 「ハワフルおに嫁」の統一ブランド名の創出で、「ひと」「もの」「風景」等々地域の魅力の効果的なPRが可能となった。
- 交流事業やSNSによる情報発信を通して「河内町」の認知度も高まり、生産者の所得向上にも繋がった。

取組内容

- 河内町のファンづくりを目的に、都市部住民を招いてみかんの花摘み、みかんを使った料理等の体験活動を実施。
- 地域資源を活かしたドライフルーツ等加工品を開発(100種類)するとともに、「ハワフルおに嫁」の統一ブランドで販売。

今後の方針

- 営業活動や情報発信(メディア活用)、販路拡大等にチャレンジすることで地域の魅力の発信力を強める。
- 交流事業や人との繋がりを大切にし、心の交流を通して、長く地域を応援してもらえるファンづくりを行う。

河内おに嫁ブランド推進協議会

熊本市西区河内町河内1978-1 Tel: 096-276-0600 Fax: 096-276-0600

28 熊本県 八代市

やつしろ菜の花ファーム987

～い草・菜の花から始まる循環・環境農業～

菜の花関連商品



小学校の菜の花種まき

経緯

- 平成18年に、い草の低迷により生じた遊休地に、い草の緑肥用の菜の花を作付け、循環・環境農業に着手。
- 平成23年にい草農家等11名により当団体を設立。菜の花(9ha)を用いた商品作り、体験イベント等を展開。

活動の成果

- 菜の花畑は新幹線沿線の景観づくりに貢献し、蜂蜜、オイル、菜の花米、黒酢等菜の花関係商品を800万円売上げ。
- 菜の花の種まき、田植え等の体験農業に小学生・大学生等300名参加。ウォークラリー等交流イベントに250名参加。

取組内容

- 菜の花で蜂蜜を作り、菜種油を採取。油粕は自家製肥料にして田に施し、除草剤を使わず「菜の花米」を生産。
- この米を利用して黒酢等を醸造会社等と連携し商品化。菜の花畑での体験農業等を地元各学校と連携し実施。

今後の方針

- 熊本県の新幹線沿線(荒尾から水俣まで)の菜の花畑の拡大、菜の花関連商品の農工商連携によるブランド化。
- 熊本県・八代市と連携し海外からの観光客を招き、世界一のい草織りと農業体験ツアーなどを推進。

やつしろ菜の花ファーム987

熊本県八代市鏡町宝出57

Tel: 0965-52-0965 Fax: 0965-52-0965

29 熊本県 玉名市

しょうだいさん

小岱山薬草の会

～薬草食べて元気な町に～



薬草観察講演会



薬草七草粥無料ふるまい

経緯

- 小岱山山麓には多くの薬草が自生し活用されてきたが、近年薬草を活用する家庭が少なくなり、伝承が危惧。
- 当団体は、市の呼びかけに応じた市民グループで、自主的な薬草知識や活用法の啓蒙活動を平成19年に開始。

取組内容

- 公民館等での薬草料理教室の開催、薬草活用の菓子の商品開発、地元イベントでの薬草料理の提供等を推進。
- 市の公園内での薬草花壇作り、高齢者による荒廃みかん園の薬草園への転換と薬草茶等の製造への支援。

活動の成果

- 団体設立以降、継続的に薬草活用の普及活動が続けてきたため、薬草知識を持つ市民が増えてきた。
- 全国の自治体や団体から薬草活用の研修会の申し込みが入るなど「薬草のまち玉名」の認知度向上に寄与。

今後の方針

- 市内外の学校への薬草料理教室の拡大、地域おこし協力隊員と連携した薬草料理や菓子の創作・公開。
- 行政と連携して国の薬草特区として申請し、薬草を活用したより創造的な商品開発と事業化を図りたい。

小岱山薬草の会

熊本県玉名市繁根木75 サンビル1階 Tel : 080-2733-9428 Fax : 0968-73-3034

30 熊本県 菊池市

すいげんむら

NPO法人きらり水源村

法人番号 5330005002904

～地域住民によるNPO法人が廃校活用し都市農村交流推進～



里山体験(茶摘み)



水源食の文化祭

経緯

- 戦後間もない頃、地元住民総出で基礎づくりをした中学校の閉校にあたり、地元住民がその有効活用を検討。
- 都市農村交流の拠点施設として整備されることとなり、その運営母体となる当NPO法人を住民主体で設立。

取組内容

- 親子の自然農業体験と食育を組合せたイベント、郷土料理を伝承する「水源食の文化祭」など多彩な取組を実施。
- 高齢者の見守りを兼ねた宅配弁当、エゴマ生産と加工販売など地域課題を踏まえた活動を積極的に展開。

活動の成果

- 廃校活用施設の運営、里山体験活動の指導、郷土食の取組などで6名雇用を確保し、約300人の地元住民が収入も増えるなど地域経済の活性化に貢献。

今後の方針

- 農産物販売の営業・企画・技術開発等を継続的に行うため、農業法人の設立を地域で検討。
- 集客増を図るため大人(企業)の体験プログラムの開発。高齢化に対応する弁当や食材の宅配システムの確立。

NPO法人きらり水源村

熊本県菊池市原1600 Tel : 0968-23-4011 Fax : 0968-27-0107

31 熊本県 阿蘇市

公益財団法人 阿蘇グリーンストック

法人番号 6330005008082

～日本一大きな「原っぱ」みんなで守ろう～



野焼きボランティア初心者研修



傾斜地での輪地切り

経緯

- 日本一広大な阿蘇の半自然草原が農林畜産業の衰退、農家の高齢化、後継者不足等で荒廃の危機に直面。
- 当財団は平成7年の発足。以来市民ボランティアによる草原保全に向けた野焼き、輪地切り等の支援活動を展開。

取組内容

- 全国からボランティアを募集。草原の大切さや野焼き・輪地切りの意味、ボランティアの役割等の研修受講を義務付け。
- 養成したボランティアを、人手不足や高齢化で野焼きや輪地切り(防火帯づくり)の持続が困難な牧野へ派遣。

活動の成果

- ボランティアは年々増加し、平成26年度は56牧野に延べ約2,000名が参加。約5000haの野焼き、輪地切りを支援。
- 環境省等とも連携し、野焼き再開に取組み、国立公園の草原景観と草原性の希少動植物の保全に大きく貢献。

今後の方針

- さらに多くの市民や団体・行政・企業等の理解・協力を得ながら阿蘇の草原を後世へ繋ぐ仕組みを築きたい。
- 地元と都市住民によるこの活動は沢山の出会いがあり、多くの人達に知恵を出してもらえよう取組みたい。

公益財団法人 阿蘇グリーンストック
熊本県阿蘇市小里656-1

Tel : 0967-32-3500 Fax : 0967-32-3355

32 熊本県 合志市

「合志あぐっと！村」運営協議会

～ICTを活用した農村地域の情報発信活動～



ケーブルテレビ番組制作



地産池消料理教室

経緯

- 当協議会は、地元NPO法人を中心に消費者・生産者・加工業者・流通販売業者等の団体が構成する組織。
- 観光資源に乏しい合志市の隠れた魅力である食と農のブランドイメージ構築のため、人と地域の魅力をSNS等で発信。

取組内容

- 農業の現場等を紹介するケーブルテレビの番組制作、地産池消料理教室、種まきや収穫など農業体験会等を推進。
- 農業シンポジウムの開催とその模様インターネット配信。その他SNSを活用し地元開催イベント等を情報発信。

活動の成果

- 農業体験ツアー、農村交流見学会等の活動状況を様々なメディアで発信することで、都市と農村の交流を促進。
- 農業とICT利活用の組み合わせは、的確でスピーディーな情報発信力を育て、地域内外の他団体との連携に繋がった。

今後の方針

- 市民の理解も深まり、ICTの利活用、Ustream、ケーブルTVの番組制作による情報発信をさらに発展させたい。
- 地元の学校、農業関係者等との協力関係が構築されつつあり、情報発信のプラットフォームとしてネットワークを拡大。

「合志あぐっと！村」運営協議会
熊本県合志市竹迫2140

Tel : 096-248-1445 Fax : 096-248-1196

33 熊本県 美里町

みずかみさこ

水上迫生活研究グループ

～スコップの音と共に、集落一丸の地域活動～



なべぶた楽団(楽器はスコップ、鍋等)



にわか劇(その時期にあったテーマで講演)

経緯

- 集落の女性の輪を広げ、生活改善活動に取り組むため、昭和57年に水上・迫の2集落の女性15名で当団体を結成。
- 食生活改善、共同加工販売等に取り組む中で、地域住民も参加する楽団の結成など集落全体の活動に発展。

取組内容

- ほうき草等の共同生産・加工販売、地元高齢者への昼食サービス、地元小学校での郷土料理の体験活動を実施。
- 住民参加の「なべぶた楽団」の演劇とスコップ三味線の公演、町の「フットパス」来客者へ軽トラカフェ等で昼食を提供。

活動の成果

- 高齢者サービス、世代間交流、消費者交流等積極的な取組は地域住民に評価され、活動への協力者も多い。
- 演劇活動は、町内外から公演依頼も多く、課題提案や慰労的役割など意義ある活動と高い評価を得ている。

今後の方針

- 味噌づくり等郷土に根ざした加工技術や料理の継承活動、野菜や工芸品づくりなど収入に繋がる活動の強化。
- 高齢化に伴う野菜出荷の集配送システムづくりの提案、地域の良さを活かしたフットパス等都市農村交流の強化。

水上迫生活研究グループ
熊本県美里町畝野

Tel : 0964-46-2114 Fax :

34 熊本県 美里町

みさと

美里フットパス協会

～フットパスを活用した農村の活性化～



小崎棚田コース 雨でも実施できる



手づくり郷土料理と一緒に食べる

経緯

- 当町は熊本市から30kmほどの距離にある中山間地域。棚田や江戸期築造の石橋などの景観が多く残る。
- 滞在時間の長い交流人口増による活性化を図るため、農村景観を散策してもらうフットパスに平成23年に着手。

取組内容

- コース設定のための調査、ルートマップ・道標の作成、関係する地域への説明会などを実施し、4～8kmの15コースを設定。
- 各コース年1回の体験イベントを開催。ガイド付きの散策、郷土料理の昼食等を縁側で食する「縁側カフェ」を提供。

活動の成果

- 来訪者が訪れることで、住民に誇りが生まれ、道の草刈りや遊休棚田の再生を積極的に行うなど意識が変化。
- 平成25年に全国フットパスサミットを当町で開催。フットパスの先進地域として認知され、九州各県50地域に波及。

今後の方針

- 平成26年に「フットパスネットワーク九州」を当協会が中心となって設立。フットパスに取り組もうとする団体の指導、「コース認定制度」の創設で更なる普及を図る。
- 九州オルレ、九州自然歩道とも連携し、歩く文化の振興も目指す。

美里フットパス協会

Tel : 0964-47-0137 Mail:mfa@town-misato.net hp:misatojimdo.com

35 熊本県 高森町

ひごむらさきブランド化研究会

ひごむらさき～肥後一番の旬の味～

左:ひごむらさき、右上:東京での販売活動、右下:レシピ審査



経緯

- 赤なす新品種「ひごむらさき」を当町で作付開始。順調に生産は増加したが、知名度の低さ等で単価が下落。
- 平成20年に当研究会を設立し、高級なすとしてのイメージ定着や販路拡大を図るための活動を開始。

取組内容

- 県内外の物産展等への参加、メディアでのPR、大消費地での販促活動、食品メーカーと連携した食育体験ツアー等実施。
- 野菜ソムリエ監修により、アクが少なく甘みがあり、生でも食べられる特徴を活かした料理のレシピ集を作成・配布。

活動の成果

- 生産者のブランド化意識の向上、九州各県や他地域にも「ひごむらさき」の名が浸透し始めるなどの効果。
- 他の作物の生産者にも同様のブランド化の意識が芽生え、町全体の農業の経営安定に向けた意識改革に寄与。

今後の方針

- 夏休みやゴールデンウィーク、シルバーウィーク期間の食育イベントや収穫体験の実施により幅広い年代での認知度を拡大。
- 社員食堂や学校給食での使用について営業活動を行い、知名度の向上と生産者の経営の安定化を図る。

高森町役場 農林政策課

熊本県高森町大字高森2168番地 Tel :0967-62-1111 Fax : 0967-62-1174

36 熊本県 高森町

あそなんごうひ 阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会

神々が宿る木～阿蘇南郷檜～

阿蘇南郷檜の山林



テスト出品 大径材は立米50万円以上の高値



経緯

- ナゴウヒは、阿蘇一帯に分布が限られる高品質プレミアム材。枝打ち等の育成が難しく、高品質な林分の減少が懸念。
- ナゴウヒを「阿蘇南郷檜」としてブランド化し、林業収入向上と地域林業活性化のため当協議会を平成26年に設立。

取組内容

- 県内外から多数の購入者が参加する銘木展示大会に、知名度の向上等を目的に会員が育てた原木をテスト出品。
- ナゴウヒは適時適正な枝打ちや間伐が必要であり、指導林家を講師に枝打ち方法の研修会を実習形式で実施。

活動の成果

- 原木のテスト出品の単価は概ね高値(4.1万円/m³)となり、PR効果に加えて会員の育成意欲の高揚に繋がった。
- 地域資源を見つめ直す契機となるとともに、関係機関・団体の連携構築によりスピード感を持った活動が可能に。

今後の方針

- 間伐時の切り株や、枝葉から抽出する精油(アロマオイル)の商品化や御神木の特性を活かした「神棚」製作を企画。
- 需要者に対して生産現場の見学会を開催し、寺社仏閣の建築用材としてのPRなど認知度の向上に取り組む。

阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会事務局

熊本県高森町大字高森2168番地

Tel :0967-62-1111 Fax : 0967-62-1174

37 熊本県 甲佐町

みやうちすみがま 宮内炭窯生産組合

～炭焼きで里山を守り、使い、自慢する！～



手づくりの炭焼小屋



集落の暮らし自慢イベント クラウトバザール

経緯

- 緑川上流域に位置する中山間地域。産業衰退による人口流出等で自然環境の維持が困難となる。
- 地域の里山保全・振興を図るため、地域住民により当団体を組織。平成19年より炭焼きの復活等の活動をスタート。

取組内容

- 手づくり炭焼小屋を拠点に、里山での木材切り出し、搬出、炭窯作業、製品梱包の作業を地域住民協働で実施。
- 炭焼きの他、耕作放棄地での芋栽培、山暮らしの体験ツアー、地域NPOの協力で都市農村交流イベントを開催。

活動の成果

- 炭焼きは月1~2回(1回450kg程度の炭)生産・販売。小規模産業が創出され、活動を通じて里山が良好に保全。
- 体験ツアーは年20回程度開催、バザールは春、冬に開催し、全国から2,000名程度来場するなど都市農村交流が促進。

今後の方針

- 高齢者でも里山管理が可能な技術として、当団体の炭窯のつくり方や焼成技術をインターネット等により普及。
- 当地の暮らしの豊かさをインターネット等を通じて都市部若者層へ自慢することで、若者の移住定住を目指したい。

宮内炭窯生産組合
熊本県上益城郡甲佐町小鹿358 E-mail : boshidora@gmail.com

38 熊本県 山都町

やまと NPO法人 山都のやまんまの会

法人番号 8330005009021

～山都町の「ごはん」「お母さん」「そのまんま」～



やまんマルシェ



福岡市天神で「山都よかご宣伝隊」

経緯

- 平成24年に発足した町づくりを考える山都町の女性の会。メンバーは、地元商店・農家・専業主婦・アーティストなど。
- それぞれの活動フィールドの垣根を超え楽しみながら前向きに町づくりをしていくことをモットーに活動中。

取組内容

- 当町の「小一領(コイチリョウ)神社」を、縁結びの神社「恋一路神社」として認知度を高めるため、参道でマルシェを開催。
- 休耕地を利用し有機農業を展開。バジルソース・柚子胡椒・各種ジャム等の加工品開発を行い雇用を創出。

活動の成果

- マルシェは毎年開催し、地元食材の食事や農産品、恋愛に因んだグッズ販売など多くの露店が並び1000人以上集客。
- 福岡都市圏での当町のPRイベントで風景・景観の写真パネル展示、加工品等を紹介し、都市住民との交流促進。

今後の方針

- 次世代を担う子供たちに焦点をあて、リーダーになり得る人材育成を目的として「山都のまんま学校」を実施。
- 成熟・効率化社会の中で見失われがちな「食」「農」「自然」「暮らしの知恵」の継承のため体験交流の場を提供。

山都のやまんまの会事務局
熊本県上益城郡山都町浜町239-3 Tel : 0967-72-1723 Fax : 0967-72-1724

39 熊本県 山都町

みずまさり

水増ソーラーパーク管理組合

～再エネをきっかけに 幸せ実感日本一の集落へ～

水増ソーラーパークイメージ図



経緯

- 水増集落の住民が管理していた3.4haの傾斜地を有効利用するため、県のメガソーラー候補地の募集へ登録。
- 応募者の中から唯一、地域再生の提案を行った企業の誘致を集落側が主体的に決定。平成26年2月運転開始。

取組内容

- 年間500万円の借地料、発電設備の管理費300~400万円/年に加え、棚田米のブランド化等のために発電収入の約5%の500万円/年を還元。
- 当組合と企業が包括協定を締結。棚田米ブランド化、加工品開発等を支援。

活動の成果

- 稲作の面積が3haから5haに拡大。完全有機の棚田米「水増の玄米」0.5haの栽培を開始するなど農業生産が活性化。
- 棚田の稲刈イベントでは、50人の都市住民が参加するなど交流が促進。

今後の方針

- 集落をコミュニティの単位として位置づけ、農業と再エネを組み合わせた新たなブランド化とデザイン化のビジネスモデルを構築。
- 中山間地における地産地消のエネルギーのモデル化を目指す。

Take Energy Corporation 株式会社

熊本県菊池郡菊陽町原水1157-3 Tel: 096-233-1580 Fax: 096-233-1581

40 熊本県 山都町

すげ

菅地域振興会

～都市住民との交流で 山里を守り 地域を振興～

山里のやすらぎの景観



助け合いの自然な気持ちで田植え



経緯

- 菅地区は人口200人ほどの山間集落。自然景観に恵まれるが、緑川の渓谷に面し、「陸の孤島」とも呼ばれていた。
- 当会発足時は渓谷の架橋実現に向け活動。平成5年の架橋着工以降自主的・主体的なむらづくり活動を推進。

取組内容

- 平成8年から棚田オーナー制、17年から茶園オーナー制を運営。11年に農産物直売等を行う交流館を建設。
- 平成22年に農家の「縁側カフェ」、23年に廃校利用の「里山レストラン」をスタート。27年交流館をリニューアル、カフェ等を開設。

活動の成果

- 棚田オーナー制は平成27年に20年目を迎え、14組が参加。都市住民との交流を通じ、棚田や自然景観を維持・活用。
- 棚田オーナー制等の取組みを契機に、外部の応援団が形成。熊本市内での直売活動が開始される等新たな展開。

今後の方針

- 山里の自然・景観、棚田、大橋などの観光資源を維持・活用、都市住民(棚田オーナー)との交流を軸に、交流館を拠点とした情報発信に努める。
- 他地域との交流機会には積極的に参加、菅のPRと相互研鑽に努める。

菅 地域振興会

熊本県上益城郡山都町菅313 Tel: 090-4510-1906 Fax: 050-1393-6244

41 熊本県 五木村

いつきむら 五木村にんにく生産組合

～6片にんにく生産による特産品開発～

ホワイト6片にんにく



スーパー店内での加工品販売状況



経緯

- 冬場の作物として、にんにくの導入を検討。JA球磨中心にホワイト6片種の試験栽培を球磨地域の3か所で実施。
- 五木村のみが栽培に成功し、この品種にこだわって栽培を開始。当組合は平成21年に設立。5戸の農家で構成。

取組内容

- 平成25年度にホワイト6片ニンニクの本場である青森県に視察研修。収穫から販売までの一連の流れを学んだ。
- 研修の成果を踏まえ、本格的に栽培を始め、黒にんにく・にんにく醤油や酢漬けなど加工品の試作にも着手。

活動の成果

- ホワイト6片種は県内では唯一当組合のみが栽培。栽培面積25a、生産量1t程度で少量ながら、年々増加。
- 平成26年から、加工品を熊本市や福岡市のスーパーで販売開始。商品の認知度も上がり、売れ筋商品も出てきた。

今後の方針

- 協同のにんにく乾燥機械を購入し品質の安定化も図った。今後も6次産業化に取り組み生産者の所得向上と五木村の特産品作りに寄与したい。
- 村内の生産者を増やすことで、産地化を目指していく。

五木村にんにく生産組合

熊本県球磨郡五木村5434 Tel: 0966-37-2477 Fax: -

42 熊本県 球磨村

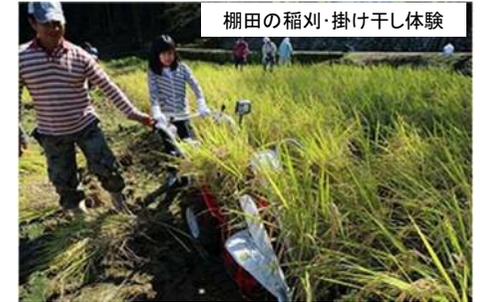
いなか たいけんこうりゅうかん 田舎の体験交流館さんがうら運営委員会

～大学との連携・協働によるムラの宝の発掘・磨き上げ～

遊休棚田を活用した花いっぱいボランティア運動



棚田の稲刈り・掛け干し体験



経緯

- 当運営委員会の活動エリアである三ヶ浦地区は球磨川の左岸側に位置する戸数260戸の山間地域。
- 平成23年、廃校となる小学校が交流施設として改修され、当施設を地元で運営すべく、当運営委員会を設立。

取組内容

- 大学と連携し、地域資源の調査とマップ等作成。遊休棚田を活用した花植栽、竹灯籠の景観を楽しむイベント等開催。
- 稲刈り・吊し柿・味噌作りや山菜・梨・イチゴ狩りツアー、特産フルーツを使ったジャム、パイ焼き等の加工体験を提供。

活動の成果

- 多彩なイベントの毎月開催で、リピーターによる利用者が大幅増加。インターネットによる情報発信の強化も集客増に貢献。
- 本物の田舎体験メニューや季節ごとに表情を変える自然を活かした散策ルートの開発で集客増と滞在時間を確保。

今後の方針

- ムラの文化的景観も楽しみ歩くフットパスや、より癒し効果の高い森林セラピーの要素を取り込んだプログラム構築。
- ホームページの充実による情報発信の強化。地域農林家と消費者との交流促進や販売促進に向けたネットワーク化。

球磨村役場 企画振興課

熊本県球磨村大字渡丙1730番地 Tel: 0966-32-1114 Fax: 0966-32-1230

43 熊本県 あさぎり町

ちゅうさんかんまつお 中山間松尾集落

～天空に咲く 遠山桜～

集落の象徴 遠山桜



集落民による獣害防止柵の設置状況



経緯

- 当集落は、標高350m、戸数4戸の山間集落。急傾斜地で栗や梨、茶を生産。茶畑の一本桜「遠山桜」が有名。
- 平成11年より中山間直接支払に取組み、自然・景観を活かしたイベント、ワレ加工品作り、鳥獣害対策等を推進。

取組内容

- 一本桜の開花期間中に祭りを開催し、地元農産物を販売。ワレ加工は地区に伝わる製法で酢漬けを製造販売。
- 猿、猪、鹿の被害は深刻であったが、守るべき農地を団地化し、防護柵と電牧線による被害防止を徹底。

活動の成果

- 桜祭りは集客5千人以上、販売金額100万円以上の年もあるなどの成果。ワレ加工品は町の推奨商品にも認定。
- 防護柵等を設置した守るべき団地では被害が全てなくなり、ワレの保護や栗の新植(累計3ha)が可能となった。

今後の方針

- 桜祭りを町全体のイベントに規模拡大し、町全体の活性化に繋げたい。ワレの酢漬けの更なる販路拡大、販売促進。
- 農地の団地化等による鳥獣害対策の先進地として、他地域からの研修などを受け入れ、交流人口を増やしたい。

中山間松尾集落

熊本県球磨郡あさぎり町須恵7512-19 Tel : 0966-45-5169 Fax : 0966-45-5169

44 大分県 豊後高田市, 杵築市, 宇佐市, 国東市, 姫島村, 日出町

くにさきはんとうう さ 国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会

クヌギ林とため池がつなぐ 国東半島・宇佐の農林水産循環

中学生特別授業



モニターツアー



経緯

- 当協議会は、国東半島宇佐地域の世界農業遺産の認定を目指し、2013年4月に活動を開始。
- 2013年5月の世界農業遺産認定後は「システムの保全・継承」「世界農業遺産ブランドを活用した地域の元気づくり」を柱に活動。

取組内容

- 次世代への継承教育として、生産者等が講師となり中学生への特別授業や、高校生による生産者からの「聞き書き」等を実施。
- 福岡都市圏住民を対象とした、しいたけ収穫体験や「田染荘小崎の農村景観」を巡るモニターツアー等を実施。

活動の成果

- 特別授業を受けた生徒達が、農作業に興味を持つようになるなど、自分たちの地域の農林水産業を見直すきっかけとなっている。
- 世界農業遺産認定を契機に、人々が地域に誇りを持ち、地域資源を活用した自主的な活動が進展している。

今後の方針

- 次世代継承教育やグリーンツーリズムとの連携による交流人口の増加などを目指す。
- 他の国内認定地域と連携し、イベントの共同開催等を通じた情報発信を加速。

国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会 (大分県農林水産部農林水産企画課内)
大分県大分市大手町3-1-1 Tel : 097-506-3525 Fax : 097-506-1757

45 大分県 日田市

だいまいこうく 大明工区資源保全組合

「大肥の庄」の恵みは絶やさない



経緯

- 平成10年に17集落で構成する「大肥郷ふるさと農業振興会」を設立。平成15年に同振興会を農業法人化。
- 農地・水・環境保全向上対策発足時に、農地や水路の保全等振興会の営農部門を下支えする当組合を立上げ。

取組内容

- 多集落1農場方式の大規模低コスト農業を下支えする草刈りや水路の維持補修、農道等の施設管理を推進。
- 非農家や子供達に農業にふれてもらうため、季節ごとの農業体験塾や麦踏み大会、農道沿いの花の植付け等実施。

活動の成果

- 二つの組織が互いに連携することで、多集落1農場方式による低コスト、高品質農業の実践を可能としている。
- 共同活動で集落内のコミュニケーションが図られ、都市住民との交流で新たな出会いが生まれるなど地域が活性化。

今後の方針

- 農地保全と施設維持を堅実にしながら、中間管理機構を活用した更なる農地の集積の推進。
- 作物のブランド化、景観と実益を兼ねた菜種やひまわりの搾油事業の展開など地域ぐるみの農業の発展。

大明工区資源保全組合
大分県日田市夜明上町693-1 Tel : 0973-27-7211 Fax :0973-27-7210

46 大分県 臼杵市

うすきツーリズム活性化協議会

臼杵時間体感！海、山、人で楽しむ臼杵の町



経緯

- グリーンツーリズムによる都市部や海外との交流が年々促進されているが、市全体の地域資源が共有されていない。
- 地域資源の有効活用と臼杵のツーリズム推進の総合マネジメント組織の確立のため、平成25年に当協議会を設立。

取組内容

- 臼杵市ならではの特産品として、ジビエ活用の饅頭「猪ぼっぽ」や特産魚等使用の「うすき100年弁当」を開発。
- 観光と農村民泊のセットプランを開発するための地引網等とのコラボイベントや移住希望者向け農泊ツアーを実施。

活動の成果

- 農泊で提供する料理素材を漁業団体から仕入れるなど、協議会活動を通じて実践者間の連携体制が確立。
- 移住希望者向け農泊ツアーは、予想以上の反響。実際の移住に結びつく効果のほか、一定の集客が見込める。

今後の方針

- 観光資源を活かした外国人向けのグリーンツーリズムについて実際の外国人を招聘し検証を行っていく。
- 人、観光資源、特産品などの魅力ある情報を、協議会HPを使い、広く、分かりやすく情報発信していく。

うすきツーリズム活性化協議会
大分県臼杵市大字野津市949番地 Tel : 0974-32-7181 Fax :0974-32-7764

47 大分県 宇佐市

ふかみちく 深見地区まちづくり協議会

農山漁村における大学・企業等の研修等

地域課題の把握 地域住民への聞き取り調査



地域の方の案内を聞きながらフットパスの体験



経緯

- 安心院町はグリーンツーリズムの先進地であるが、人口減少、高齢化など他の農山村と同様の課題を抱える。
- 大学等との連携により地域課題研究、実践の拠点機能の整備等を行うため、当協議会を平成25年に設立。

取組内容

- 地元大学の合宿を受け入れ、地域住民と交流しながら課題を調査。地域の良さを再認識するためのフットパスを実施。
- 地域と学生の交流拠点としてのカフェを廃校内にオープン。カフェ運営の充実のため「郷土料理勉強会」を開催。

活動の成果

- 学生・研究者を中心に多種多様な人材・来訪者を招いたことで、地域住民に刺激を与えることができた。
- フットパス体験、学習フォーラム活動、カフェ試行により地域資源の豊かさを再確認し、今後の活動の足がかりとなった。

今後の方針

- 子どもから高齢者までいきいきと安全・安心に暮らせる生活環境の整備や、集落を越えた校区の一体感。
- 地域文化、伝統を守り発展させる活動団体の活性化や地域資源を生かした都市部との交流による地域活性化。

深見地区まちづくり協議会

大分県宇佐市安心院町矢畑442番地2 Tel: 0978-44-4544 Fax: 0978-44-4544

48 大分県 宇佐市

しももりやま 下森山環境保全組合

～神様と仏様にいただいた森山の自然を後生に～

住民参加による休耕田の活用



ジャンボカボチャの収穫



経緯

- 本地区の地域活動は、農家主体で行っていたが、農業の大規模化に伴う農家戸数減少等により活動が困難化。
- 一方、宅地化が進み非農家が大幅に増加。地域住民一体で活動に取り組むため、当組織を平成24年に設立。

取組内容

- 県道沿いの休耕田を利用し景観形成として、子供会と連携してヒマワリを植栽し帰省時期に鑑賞会を開催。
- 小学校との連携では、カボチャやニンニクの収穫を行い、収穫の喜びを体感し農業への関心を深めている。

活動の成果

- 集落が共同で活動することで、集落内のコミュニケーションが図られ自治会等の行事に参加しやすい環境を醸成。
- 高齢者も子供達と接することで、元気ももらっている。収穫体験では農業の楽しさが学べ、後継者の育成に期待。

今後の方針

- 地域コミュニティの脆弱化が危惧されていたが、本活動の開始に伴い年々世代を超えた絆が深まりつつある。
- 今後は継続的に活動が実施できるよう、若いリーダーの育成が重要である。

下森山環境保全組合

大分県宇佐市大字森山869 Tel: 0978-32-1995 Fax: -

49 大分県 豊後大野市

おおのまち ほぜんたい
大野町みどり保全隊農地・水・環境保全管理協定運営委員会

～花の社会性が地域を変える～



植栽状況



開花状況

経緯

- 農地・水・環境保全向上対策に取り組むため、当委員会を平成19年に設立。農業者360名、20の自治会等で構成。
- 畑法面の草刈り等の省力化を目的として、平成22年より畑法面・農道法面にシバザクラの植栽を推進。

取組内容

- 地域全体の協力により集落単位に順番でシバザクラを1集落当たり300~400㎡植栽する計画を実践。
- 植栽は集落の役員が植栽箇所の雑草処理、防草シート敷きを事前に行い、植栽当日は集落の住民総出で行う。

活動の成果

- シバザクラ植栽の集落合意形成はスムーズに進み、これまで12地区で実施。傾斜畑の土壌流出防止効果もある。
- 草刈りの省力化、景観形成のみならず、病害虫の抑制、草刈事故防止等の観点からも地域の評価は高い。

今後の方針

- 多面的機能支払の活動項目の一つとして実施する中、誰もが関われる活動でコミュニケーションの発展へ繋げたい。
- 花の美しさを意識共有し、感性を高めることで、心地よい景観形成、効率の良いムラ作りに努めていきたい。

大野町土地改良区

大分県豊後大野市大野町田中2600-4 Tel: 0974-34-2723 Fax: 0974-34-2722

50 大分県 九重町

ここのえけんび さと
九重健美の里づくり協議会

～都会にないもの、ふるさと九重を発信し共生対流の実現を目指す～



「ここのえすきっぷ」パンフ

「九重朱鷺夢米」の稲刈風景



経緯

- 九重町を訪れる観光客は年間500万人に上るが、そのほとんどが通過型でありグリーンツーリズムも十分ではない。
- 都市部との交流促進、大学・企業との連携による地域製品の販売増を目指し、当協議会を平成25年に立上げ。

取組内容

- 九重地域での梨刈りや乗馬、アロマ等の体験や地産地消の食事ができる「ここのえすきっぷ」を開発。
- 特産品の中で「米」のブランド化を目指し、8名の生産農家の参加を得て「九重朱鷺夢米」として、直売に着手。

活動の成果

- 体験と食事が割安で提供できる「ここのえすきっぷ」は町が主催する各イベント等でもPRされ、普及しつつある。
- 「九重朱鷺夢米」はブランド化の効果により、新たな栽培参加を希望する農家が増加した。

今後の方針

- 定住人口1万人、交流人口2万人、併せて3万人が集うまちづくりを目指している。
- 町を知ってもらい、町に来てもらい、町に宿泊してもらい、町の製品を買ってもらう九重のファンづくりを進める。

NPO法人 九重夢創造塾

大分県玖珠郡九重町大字田野1551番地 Tel: 0973-73-3522 Fax: 0973-73-3536

51 宮崎県 都城市

有限会社 とくしげこうばいえん 徳重紅梅園

法人番号 6350002014123

～無農薬生産、無添加加工品を消費者へ直販～



草生栽培の草刈り。年に6～8回行う



大淀川源流に広がる20年生の梅園

経緯

- 化学肥料、農薬の多用で野草、小川の生き物が消え、加工現場も添加物が氾濫しているのを危惧。
- 昭和37年から有機肥料主体の梅栽培に着手。昭和48年から伝統の無添加加工を守った梅加工と直売を展開。

活動の成果

- マスコミ報道もあり、全国に顧客を確保(平成26年受注件数4700件)。鹿児島の特産グループへ栽培法を普及。
- 梅園の大部分4haは、大淀川源流の集落にあり、過疎化対策と景観と自然保護に貢献。周辺にも植林が普及。

取組内容

- 旧開拓地を開墾した梅園5haは、刈取った草や椿の油粕などを3年間発酵させた自家製堆肥で無農薬栽培。
- 梅干は自家栽培のシと天然塩で3年間熟成、梅エキスも土鍋を使用し時間をかけ濃縮するなど伝承を守り加工。

今後の方針

- 子供の健康を心配する若い顧客は経済的に余裕がないため、商品の原価を少しでも安く出来るように努力。
- 水源地周辺の環境を守り、現在の野草や虫の保護復活を兼ねて、共存共栄の農業活動を続ける。

有限会社 徳重紅梅園

宮崎県都城市平塚町9825番地 Tel : 0986-22-6325 Fax :0986-22-2809

52 宮崎県 小林市

きた いな かものがたり 北きりしま田舎物語推進協議会

～はじめまして！の後は、もう家族。～



牛の世話の体験



消防署救急救命士による講習会

経緯

- 当協議会は小林市・えびの市・高原町の個人・団体が連携を強め、体験型観光を推進するため平成18年に設立。
- 地域資源を活かし、ありのままの暮らしを伝える農家民泊に着目し、農村に人を呼び込み田舎の良さを発信。

活動の成果

- 農家民泊をとおして子ども達に【生きる力】【生き抜く力】の気付きに繋がる効果があると確信。
- 活動を通して、交流人口の拡大、受入農家の所得向上、地域における経済波及効果も期待。

取組内容

- 農家民泊による教育旅行受入を中心に展開。生徒さんと受入農家との過ごす時間を大切に家業体験を提供。
- 受入農家は浴室や食品の衛生講習、救命講習、リスクマネジメント講習を毎年受講するなど安心・安全な受入を徹底。

今後の方針

- 年間通して受け入れできる体制づくりを確立するため、研修講習会などでスキルアップと資質向上に努める。
- インバウンドの受入れ体制をつくり、農家の所得向上等の経済効果と、心育み、喜びなどの精神的効果の推進を図る。

北きりしま田舎物語推進協議会

宮崎県小林市堤108番地1 Tel : 0984-22-3020 Fax :0984-22-3020

53 宮崎県 日向市

しょうでかじきちく 庄手梶木地区農地水環境部会

～ワクワク体験隊～



ワクワク田植え体験隊



ワクワク水生生物調査

経緯

- 平成17年より、地元有志が委員会を立ち上げ、将来の営農活動の話し合いを開始。19年に営農組合を設立。
- 農地・水・環境向上対策に取り組むため、営農組合の下部組織として当部会を設立。構成員は非農家含む94名。

取組内容

- 子供達の環境保全の学習や食育に取り組むため、NPO法人と連携し、田植、収穫、生き物調査の体験活動を実施。
- 参加者募集はNPO法人が担当。各体験終了後、おにぎりなどを参加者に提供。開催時は必ずメディアへ連絡。

活動の成果

- 環境保全意識が高まり、川的环境も良くなり、蛍が見られる。どこの子供か分かるなど世代間交流が深まった。
- 地域内では、今までになかった集落内での絆も生まれ、区と営農組合で地域を支える体制が出来上がった。

今後の方針

- 活動の紹介依頼等への対応、ブログでの紹介、メディアへの対応など今後とも積極的に活動の発信を行う。
- 地域内の女性の雇用により地域にお金が落ちる仕組みを作りたい。野菜栽培や観光農園も視野に入れている。

庄手梶木地区農地水環境部会 事務局
宮崎県日向市大字日知屋13070-1 Tel : 0982-52-8585 Fax : —

54 宮崎県 串間市

かさぎちく 笠祇地区

～笠祇の元気な里づくり～



焼肉フェスティバルの風景



てべすおどりを発表会で披露する子ども達

経緯

- 世帯数49戸の中山間地域の自治会。平成4年から焼き肉フェスティバルを毎年開催し、地区外との交流を推進。
- これをきっかけに地区民が一体となり、農業体験や伝統芸能継承を併せて行うようになり。現在でも継続。

取組内容

- 焼き肉フェスティバルは、主産業の畜産と、笠祇岳山頂からの景観を活かし、大パノラマを眺めながら宮崎牛を堪能。
- 地元小学生(7名)にもち米の田植え、稲刈り、餅つき等の体験や、地元にくから伝わる「てべすおどり」を継承。

活動の成果

- 焼き肉フェスティバルは、毎年多くの参加者(120名)があり年々参加者が広がり「和牛の里笠祇」のイメージが定着。
- 農業体験や文化芸能継承において、地区の農業や伝統を守ると同時に、将来の地区の担い手として期待。

今後の方針

- 高齢化による地区民の減少は避けられず、生徒数も少なくなっていることから活動の継続が難しい現状。
- 今後は笠祇の魅力や資源を活用した地域づくりはもとより、笠祇のすばらしさを次の世代に伝える方法を模索。

笠祇地区
宮崎県串間市大字奴久見897 Tel : 0987-72-4011 Fax : 0987-72-6727

55 宮崎県 綾町

あやちょうにしきばるだいちちいき 綾町錦原台地地域づくり推進協議会

～農商工連携ラボを拠点とした都市農村交流～



農商工連携ラボ



綾どれギフトショップ

経緯

- 個人客を楽しませる拠点づくりのため、平成23年に農業生産者と商工業者が一体となった農商工連携ラボを設置。
- ラボ(店)では商品開発や販売とともに、観光客の誘致を図り、都市農村交流による観光客導入の拡大を推進。

取組内容

- 地域の生産物(12社、307アイテム)を集めて展示販売を開始。また、商品開発の講習会や相談会を実施。
- 農商工連携ラボと消費者をつなぐパイヤー(食品関係、旅行業者、シェフ、ジャーナリスト等)のモニターツアーを2年間で2回実施。

活動の成果

- 地域の素材を活かした手づくり本物の装飾グッズや嗜好品、加工食品等が店に集まり評判を呼ぶ様になった。
- この拠点を活用して頻繁に催事ができる様になった(スローフードまつり・フリーマーケット・食農体験等)。

今後の方針

- 田園風景の中に個性的な商店・工房・飲食などが散在しながら優雅に自然と融合した町を目指す。
- 生活環境と産業が混然と融合でき、厳しい環境規制が守られ、自然と共生した経済活動ができる町を目指す。

綾町錦原台地地域づくり推進協議会
宮崎県東諸県郡綾町大字北俣3455-3 Tel : 0985-77-0909 Fax : 0985-77-1108

56 宮崎県 高鍋町

しきさい 四季彩のむら

～昭和30年代の風景が残る、彩りあふれる里山～



草刈り鎌で稲刈り



田植え体験を通じた婚活イベント

経緯

- 当町では、平成13年度より四季を感じることができる「昭和30年代の農村風景」の再現を支援する事業を実施。
- 当団体はこの事業に取組む農業者12名で構成。季節の作物の栽培、他団体と連携した多彩な交流活動を展開。

取組内容

- 石積棚田を含む6.2haの農地に、普通期水稻やレンゲ、ソバなど四季の彩り豊かな作物を栽培、畦に彼岸花等植付。
- 親子での田植・稲刈り体験、田植体験を通じた婚活イベント、田んぼアート、遊歩道利用のレマソンなどを実施。

活動の成果

- 地域住民や来訪者に年間を通じ美しい景観、環境学習の場を提供。田植・稲刈りは、県内各地の参加者で賑わう。
- 多彩なイベントにより、多くの来訪者を呼び込むことで、地域内の交流施設等の利用者の増加などの相乗効果。

今後の方針

- 沿道の修景作業を継続して行い、コンセプトである「昭和30年代の農村風景」を現在に残すことに力を入れていく。
- 交流施設等も含め、来訪者を増加させるため、魅力あるイベントを行って県内外を問わず賑わえる場を提供する。

高鍋町産業振興課
宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437番地 Tel : 0983-26-2021 Fax : 0983-23-6303

57 宮崎県 高鍋町

そめがおかちく 染ヶ岡地区環境保全協議会

～きゃべつ畑のひまわり祭り～



きゃべつ畑のひまわり風景



ひまわり畑のメインストリートを歩く来場者

経緯

- 九州有数のきゃべつ、白菜の産地。農地・水・環境保全向上対策に取り組むため、平成21年に当協議会を設立。
- 口蹄疫で利用できなくなった家畜堆肥に代わる緑肥として、落ち込んだ町民を元気づけるため、ひまわりを栽培。

取組内容

- 栽培面積は、取組開始の平成22年の38haから植栽農家が年々増加し、26年には80ha(1100万本)に大幅に拡大。
- 数か所の花見台設置やひまわり迷路づくり、見頃の8月中旬のひまわり祭り(来場者1.5万人)、婚活イベントを実施。

活動の成果

- ひまわりは景観だけではなく畑の土づくりに効果。栽培面積の拡大など地域一体で取組むイベントに成長。
- マスコミにも取り上げられ、全国から来場者が訪れ、口蹄疫からの復興・再生の象徴的存在となっている。

今後の方針

- 近年、ロールキャベツ丼やキャベツの粉使用のロールケーキ等販売。ひまわり祭りを通してこれら農商工連携を確立したい。
- 『ひまわりキャベツ』が販売される等、ブランド化に取り組んでいるため、情報発信に更に力を入れていきたい。

高鍋町産業振興課

宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437番地 Tel: 0983-26-2021 Fax: -

58 宮崎県 西米良村

にしめら 西米良うめえもん研究会

～中学生が村をひっぱる！村一丸となった特産品開発～

パッケージ試作品



中学生が提案したピクルス試食の様子



経緯

- 当村の加工業の販売促進の停滞やデザイン業務の人材不足を補うため、中学校のキャリア教育の活用を計画。
- 当研究会が双方の課題や目的を解決するため、加工販売者と中学校をコーディネートする取組みを行った。

取組内容

- 1年生は「西米良いいところマップ」、2年生は商品開発の企画書を作成、3年生は実際の商品の販売促進を担当。
- 生産加工グループは提案を受け、大根等のピクルスを試作、3年生デザインの高菜炒めのパッケージを実際に採用。

活動の成果

- 高菜炒めのパッケージは話題性等もあり売上げは2倍に上り、加工グループのモチベーション向上に繋がった。
- マスコミにも取り上げられ認知度が高まり、村内でも一緒に取り組む団体が増え、新商品開発の着手に繋がった。

今後の方針

- プロジェクトの今後の挑戦として、中学生が企画、デザインした商品を店頭販売し自分の故郷の良さを知ってもらおう。
- 企画と実際の販売とのギャップや消費者の意見を聞きビジネスマインドを中学生に養ってもらいたい。

西米良うめえもん研究会

宮崎県児湯郡西米良村大字村所15 Tel: 0983-36-1111 Fax: 0983-36-1207

59 宮崎県 高千穂町

農業生産法人 おたに家 株式会社

法人番号 4350001007501

～諦めの悪い棚田を実践する日本のふるさと～



汎用コンバインによるソバ収穫



福岡マルシェへの出店

経緯

- 高千穂町は少子高齢化の進む過疎地域であり、近い将来美しい棚田が原野化するという危機感を抱いた。
- 雇用の維持や耕作放棄地の受け皿対策のため平成20年に農業生産法人「おたに家株式会社」を設立。

活動の成果

- 雇用創出の事業活用は、意識の高い人材確保と行政から多くの情報が得られ、商品開発と売上げ拡大に貢献。
- 県内外の物産展等への出店で、同業種のメーカーや商社とのマッチングが成立し、安定した原料供給の取引ができた。

取組内容

- 雇用創出の各種補助事業を活用して若者を雇用。耕作放棄地7.7haを再生し、米、ソバ、大豆、ハトムギ等を生産。
- 生産した農産物使用による加工品(おかず味噌、旨塩、倍煎茶等)づくりと物産展等への出店による販路開拓。

今後の方針

- 経営所得安定対策に積極的に取り組み、ソバ、ハトムギ、トウモロコシの産地化を目指したい。
- 露地生産の不安定性から脱却するため、農産物の工場生産化に取組み、安定した農業経営の確立を目指す。

農業生産法人 おたに家 株式会社
宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井5138-1 Tel : 0982-73-2228 Fax : 0982-76-1248

60 宮崎県 高千穂町

高千穂ムラたび協議会

～動き出した 未来のムラづくり～



資源活用の主力商品に育った「あまざけ」

民宿「まろうどん」料理と接遇の評価でファンを獲得



経緯

- 当地区は戸数39戸の山間集落。地域の宝を磨き、交流によるムラおこしのため、平成22年に当協議会を設立。
- 若者やイターン者を積極的に受入ながら、「農業・6次産業化」「食と農家民宿」「エコミュージアム」の活動を展開。

活動の成果

- 社会基盤を失いかけていた山間地でのムラづくりの刷新、若者の参入・定着が住民のやる気に繋がっている。
- 若者の人材育成に重点を置いたことで新しい視点を持ち、産業基盤づくり、販売額の増加にも繋がっている。

取組内容

- 無人直売所で農産物、手づくり工芸品など販売。若者4人が中心となって「どぶろく」や「あまざけ」等を製造販売。
- 農家民宿や古民家食堂で郷土料理や創作料理を提供。空き家等を展示場に改装し、神楽等地域文化を紹介。

今後の方針

- 新たなビジネス創出に向け、直売所や農家民宿等の開設、地域文化の展示等により「ムラごとエコミュージアム」が始動。
- 本格的集落ビジネスに繋げるため、より魅力的なグリーンツーリズム等を目指し、新しい視点に立った事業展開を図る。

高千穂ムラたび協議会
宮崎県西臼杵郡高千穂町向山6604 Tel : 0982-72-7226 Fax : 0982-82-2283

61 宮崎県 五ヶ瀬町

特定非営利法人 五ヶ瀬自然学校

ごかせしぜんがっこう

法人番号 1350005003383

～日本一の清流五ヶ瀬川上流で行う持続可能な村づくり～

「五ヶ瀬風の子自然学校」の田植え



米を中心に特産品ネットショップ



経緯

- 五ヶ瀬川流域の資源を生かした地域づくりに取組むため、町内の若手を中心に平成17年に当組織を立上げ。
- 交流人口を増やし定住に繋げるため、地域の農林業とエコツーリズム、グリーンツーリズムを組合わせた様々な事業を展開。

取組内容

- 田舎暮らしの良さを子供達に伝えるため、地元小学生による農業・自然体験や季節に応じた子供キャンプを開催。
- 地元農家と連携して特別栽培米や佃煮、お茶、漬物等の特産品をネットショップにより直接消費者に販売。

活動の成果

- 放課後に年間250日開催の農業・自然体験は地元小学生が毎年全員参加。キャンプも年間延べ600名が参加。
- ブランド米の販売は年間9t程度で安定。U・ターンで農家の後継者確保や耕作する若者が定住するなどの効果。

今後の方針

- 新たな活動として、大学や企業の研修を受け入れる「五ヶ瀬コミュニティ体験大学」や農業ボランティア受入等を行う。
- 農村集落の景観を活かした「フォレスト・アウトバス@五ヶ瀬」等を集落とともに展開し、五ヶ瀬町の過疎化を止める。

特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校
宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字鞍岡6452乙 Tel : 0982-73-6366 Fax : 0982-73-6366

62 鹿児島県 鹿児島市

特定非営利活動法人鹿児島県有機農業協会

法人番号 1340005001586

～「畑の学校」～

土作り・畑作り(畝作り)の指導



フェスタでの活動



経緯

- 都市化が進み、土に触れ合う機会等が少ない環境にあり、野菜がどうやって育てられるか知らない子どもも多い。
- そのため、土作りから収穫まで体験する「畑の学校」を平成26年に開設。実践的な食育活動に着手。

取組内容

- 「畑」を「学校」として開校し、有機農業を実際に体験。収穫野菜を使った料理教室と食育の講義を実施。
- 多くの都市住民が参加するフェスタへ参加し、パネル展示などでの活動報告の実施による普及活動を実施。

活動の成果

- 市内在住の家族を対象に、有機農業を楽しみながら体験出来る場を提供し、「農業」への意識変化が見られた。
- 農業を体験することで、家族の関係が良くなったなどの効果も多くみられ、活動へ賛同意見が多く寄せられた。

今後の方針

- より良い広報活動・実践活動を検討実施し、理解と関心を深めるように取り組んでいきたい。
- 参加者が活動後も自ら実践し、そこから更なる普及の幅が広がるように取り組んでいきたい。

特定非営利活動法人鹿児島県有機農業協会
鹿児島県鹿児島市西田二丁目11-8明日ビル2階 Tel : 099-258-3374 Fax : 099-258-2204

63 鹿児島県 鹿屋市

みなみしみずがわ 南清水川水利組合活動組織

～ふるさとの農地・水・環境をまもろう～

水田2.1haを利用したコスモス植栽



コスモス鑑賞会で水土里サークル活動PR



経緯

- 過疎化が進み、遊休農地の増加や水路・農道・農業用施設の日常管理が困難になりつつあった。
- 平成19年に農地・水環境向上保全活動の事業説明を受け、地域での話し合いを経て活動に着手。

取組内容

- 景観向上対策活動として、毎年、早期水稲収穫後の水田と遊休農地にコスモスとひまわりを植栽し鑑賞会を開催。
- 遊休農地を活用しソバの栽培から収穫、そば打ちから試食までを行う交流会を開催。

活動の成果

- イベントの参加者が年々増加。非農家も進んで参加し、美化活動も積極的に行われ、農地周辺の環境も向上。
- コスモス鑑賞会を契機に伝統行事「田の神舞」が復活。また炊き出し等を契機に「女性のつどい」(23名)が結成。

今後の方針

- 高齢化による活動低下を招かないように、今後は水土里サークル活動をきっかけとした活動地域の拡大を目標として、活動組織の更なる活性化を図っていききたい。

南清水川水利組合活動組織

鹿児島県鹿屋市南町277-3 Tel : 0994-49-3098 Fax : 0994-49-3098

64 鹿児島県 鹿屋市

「ひらぼうほたるの里」ひらぼうほたる飛ばせ隊

～星がきれい水がきれいなひらぼうほたるの里～

ひらぼうほたる祭り



生態調査 ほたるの幼虫



経緯

- 平房地区はきれいな水に恵まれ、ゲンジボタルやヒメボタルが自生。多くの方に見て貰おうと祭りが行われてきた。
- 代表者が亡くなった等で祭りが途絶えていたが、平成24年に当団体を立ち上げ「ほたる祭り」を再開。

取組内容

- 祭りは5月上旬から約2週間開催。初日にイベントを行い、期間中は発生状況をホームページに掲載。
- 年間を通して、環境整備(道路・水路の清掃)や子ども達によるほたる生態調査(環境学習)等を実施。

活動の成果

- 祭りは高齢者から子ども達まで何らかの役割を担っており、世代間交流が深まり郷土愛も芽生えてきた。
- 祭りの参加者も平成24年の約800人から26年には約900人に増加しており、地域外へのPRにも繋がっている。

今後の方針

- 湧水を使用したうどん、そば等地域の素材を活かした食事の提供。
- 次代を担う子ども達の育成を図り、地域の魅力を子ども達とともに発信していきたい。

「ひらぼうほたるの里」ひらぼうほたる飛ばせ隊

鹿児島県鹿屋市輝北町平房660 Tel : 099-486-1111 Fax : 099-486-1057

65 鹿児島県 阿久根市

おりた

折多校区の自然を守る会

～支えあうみんなの気持ちが折多の力～

共同作業水路の補修



経緯

- 阿久根市街地から北へ6km程の水田地帯で過疎化・高齢化により農業生産活動やコミュニティの存続等に不安。
- 農地・水・環境向上保全対策の創設を機に、折多校区の土地改良区、自治会、小学校、PTAにより当団体を設立。

活動の成果

- 自治会と連携し、草刈りや泥上げを地区の一斉清掃に組み込むことで地域一体となった活動が可能になった。
- 稲の生育の体験学習等により、農業の大事さを実感する等、多様な教育的効果が得られている。

折多小学校の農業体験学習



取組内容

- 水路・農道等の保全活動の他、小学校と連携した子ども達による田植え、収穫、餅つきまでの農業体験を実施。
- 福祉サービス事業所入所者等によるそば作り体験、大震災被災の福島県の小学校へのもち米寄贈を毎年実施。

今後の方針

- 地域役員を若手の構成員へ継承することで、活動のアピールや地域活動への参加等活動の充実を図る。
- 長年休止し、昨年、再開した地域の伝統芸能「鎌踊り」の伝承に向けてサポートしていきたい。

折多校区の自然を守る会

鹿児島県阿久根市多田2121番地1 Tel : 090-3320-1673 Fax : 0996-72-2818

66 鹿児島県 薩摩川内市

みねやま

峰山地区 コミュニティ協議会

～むらの宝で ムラづくり～

手づくり自然観光公園柳山アグリランド



経緯

- 当協議会は、薩摩川内市の合併の際に小学校区単位に設立された48の「コミュニティ協議会」の一つ。
- 平成18年の当協議会設立時に策定された「峰山地区振興計画」に沿って自主的なムラ(農村)づくりを展開。

活動の成果

- 柳山の山頂からは甌島列島等が眺望でき、年間3万人の来園者が訪れる。焼酎販売も8年間で7千万円売上。
- 地区民にボランティアは成果を生むとの意識が醸成され、住民による農道・林道の整備、花いっぱい事業等に発展。

柳山アグリランドでのサツマイモ収穫45a



取組内容

- 荒廃していた茅場「柳山」34haを住民協働で観光公園「柳山アグリランド」に整備。ハイキングコースを設け、四季の花々を植栽。
- サツマイモ栽培等の農業体験、地元産のサツマイモ使用のオリジナル焼酎の製造・販売、「レストラン柳山」による食の提供等を実施。

今後の方針

- 今後は柳山アグリランド事業による農業体験と交流人口増及び若手担い手への水田の集約に取り組む。
- 国内外からの研修受入、出前講演、マスコミ等の活用により、当協議会の取組を情報発信。

峰山地区コミュニティ協議会

鹿児島県薩摩川内市高江町1735-1 Tel : 0996-27-2157 Fax : 0996-27-2157

67 鹿児島県 薩摩川内市

おおまごえ

大馬越地区コミュニティ協議会

地域資源を活かした農産物加工品の生産販売を通じた地区活性化への取組

耕作放棄地を活用したシソ栽培



しそサイダーと紫蘇ジュース



経緯

- 当協議会は、薩摩川内市の合併の際に、小学校区単位に設立された地区横断的な自治体活動組織。
- 当協議会の「地区振興計画」に基づき、休耕田を活用したしそ栽培と加工品づくり、交流イベント等を展開。

取組内容

- しその種まきから収穫、ジュース加工、商品名「しそっぷ物語」の販売までの活動を高齢者や女性が主に担当。
- 事業の益金を活用し、自然環境を活かした「ホルの夕べ」や「といあげ祭り（収穫祭）」等のイベントを開催。

活動の成果

- 「しそっぷ物語」の生産販売活動を機に地区内の一体感が醸成され、地区活性化の意欲が各種イベントに波及。
- 加工品の積極的な販売活動は地区の売り込みにもなり、多くのファンを生み地域づくり活動のモデルとなった。

今後の方針

- 「しそっぷ物語」の販売から9年が経過し、リピーターも獲得しているが、商品の多様化等を検討中。
- 豊かな自然を目玉とし、自然体験交流プログラム等も活かしながら、地域活性化と交流人口増を図る。

大馬越地区コミュニティ協議会

鹿児島県薩摩川内市入来町浦之名3492番地4 Tel : 0996-44-2773 Fax :0996-44-2773

68 鹿児島県 薩摩川内市

さつませんだいし

薩摩川内市グリーン・ツーリズム推進協議会

地域資源を活用した3カアップへの取り組み～「実」カ・「味」カ・「me」カアップ～

修学旅行生の受入



外国人旅行者モニターツアー



経緯

- 修学旅行生を対象とした農家民泊の受け入れを以前から実施。
- 更なる交流人口の増大による農家所得の向上のため、一般旅行者や外国人旅行者の受入に向けたスキル向上、体験プログラム開発に着手。

取組内容

- 民泊受入農家の取組状況等について現状を分析し、今後、よりスムーズな受入に向けマニュアルを作成。
- 受入スキルの向上を目的として、県外の先進地研修視察を実施。また、欧米からのモニターツアーを実施。

活動の成果

- 本協議会の受入状況の現状分析及び体験メニューの精査を行い、より安心安全な受入に向けたマニュアルを作成。
- 外国人旅行者の受入については、新たな体験メニュー等を実施することで、一定の評価を得ることができた。

今後の方針

- 農家民宿資格者の登録数を増やし、修学旅行生だけではなく、一般旅行者さらには外国人旅行者に、繰り返し訪れてもらえる農家民泊の地となることを目指す。

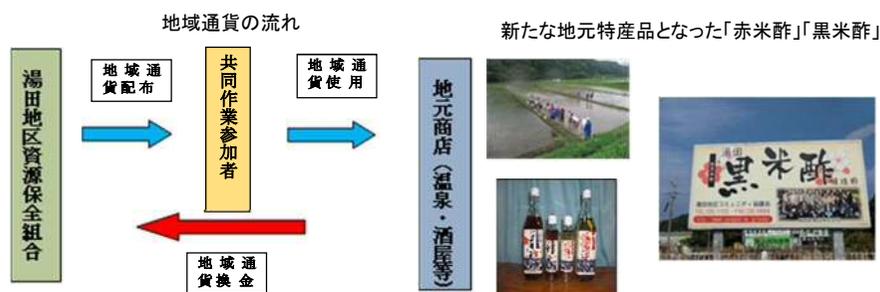
薩摩川内市観光・シティセールス課

鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号 Tel : 0996-23-5111 Fax :0996-25-1704

69 鹿児島県 薩摩川内市

ゆだ 湯田 地区資源保全組合

アイデアいっぱい 夢いっぱい 湯田はいつでも元気いっぱい！



経緯

- 鹿児島市から北に約60km程の中山間地域で過疎化・高齢化により農業生産活動やコミュニティの存続等に不安。
- 農地・水・環境向上保全対策の創設を機に7つの自治会の農業者及び非農家により当組合が設立。

活動の成果

- 農業者中心で行ってきた保全管理作業への非農家の参加も増加し、地域全体で農地等を守る体制ができた。
- 地域通貨発行により、地元商店利用者が増、7年間で300万円以上還元。米酢も地元特産品として定着。

取組内容

- 交付金による共同作業の出役の対価として、地元商店、理容店、温泉などで利用できる地域通貨を発行。
- 当組合と湯田地区コミュニティ協議会の連携により「黒米」「赤米」から醸造した「黒米酢」「赤米酢」を商品化。

今後の方針

- 「多面的機能の増進を図る活動」をきっかけに、地域に古くから伝わる「兵六踊り」の存続に力を入れたい。
- 地域通貨を継続し、地元商店の安定した需要を図る。特産米酢の販路拡大と安定した生産体制の確立。

湯田地区資源保全組合

鹿児島県薩摩川内市湯田町1254番地 Tel : 090-3661-9149 Fax : -

70 鹿児島県 曾於市

すえよし そおし 株式会社メセナ末吉 曾於市観光特産センター

法人番号 4340001014903

～埋もれた資源をアイデア・連携で生かす～



経緯

- 曾於市は、平成22年度に当センターを設置し、未開発の観光事業の推進。農畜産品に関する特産品開発・PR・販路拡大等に着手。
- 観光事業の企画・運営、特産品開発と販売活動を展開。懇切丁寧なる総合案内も実施。

活動の成果

- ゼロからの出発であったが、約60人の観光ボランティアガイドによる人情味ある案内が好評で、H26年度は81回の観光ツアーを受入。
- 市内10社社の加工品をネット・カタログ販売、イベント会場でのPR・販売で曾於市の知名度が向上。

取組内容

- 観光面では、観光ボランティアの養成、農林業体験、郷土楽器の「ゴッタン」の演奏・体験、自然散策、郷土芸能、霧島ジオパークの散策ツアーなど体験型観光を企画・運営。
- 加工関係者等と連携し、「ゆず羊羹」、「曾於茶羊羹」などを開発・販売。

今後の方針

- 旅行者等との観光事業のさらなる拡大と台湾や横浜市在住の外国人との交流促進。
- 特産品の開発やPR・販路拡大の促進。
- 市内レストランと提携した「ゆず三昧料理」等の提供等、「食」による観光化を推進。

曾於市観光特産開発センター

鹿児島県曾於市末吉町深川11050-1 Tel : 0986-28-0111 Fax : 0986-79-1147

71 鹿児島県 曾於市

たかまつ 高松 地域活動隊

人・水・土の里！！未来への継承



隧道探検中



田んぼアート

経緯

- 当地域の水田135haは、明治40年に開田。生産基盤は整備されたが、高齢化等で施設の保全が困難に。
- 平成19年に地域の共同作業による活動を検討し、高松地域23自治会と4団体で構成される同隊を設立。

取組内容

- 農地・農業用施設の維持の他、「田んぼアート」、稲作の「学習農園」、「隧道探検」等多彩な活動を展開。
- 隧道探検はほとんどが隧道(6.8km)の用水路8.1km取水口から巡るイベント。多くの小中学生が参加。

活動の成果

- 隧道探検は近年参加者が増加。子ども同士の連帯感が養われ、先人達の苦労を勉強する機会になっている。
- 田んぼアートは、農業農村のPRができ、地域住民との交流、一体感が醸成。学習農園では農業の大変さを体感。

今後の方針

- 総会を利用してのPR活動や市の広報誌への掲載、隊の広報誌を通じた市民への情報発信を継続。
- 他地域においても同じ仲間が増えていくことを願い、過疎・高齢化が進む本市の活性化に役立てたらと思う。

末吉町土地改良区

鹿児島県曾於市末吉町二之方1980 Tel : 0986-76-8810 Fax :0986-76-1122

72 鹿児島県 霧島市

かれいがわ 佳例川地区自治公民館

百年の眠りから覚めた幻のサツマ芋「蔓無源氏(つるなしげんぢ)」



オリジナルいも焼酎「蔓無源氏」



ふるさと佳例川 新米ウオーキング

経緯

- 高齢化が進む中、平成7年に「佳例川を語る会」を発足。会を中心に「お田植え祭」を復活。活動の機運が高まる。
- 希少いもの復活と焼酎製造販売、ブランド米の販売促進等自治公民館組織として様々な活動を展開。

取組内容

- 大正時代の「蔓無源氏」を復活し、オリジナルいも焼酎を製造。集落住民の出資で開設した商店で販売。
- 菱田川源流の米を「佳例川源流米」として販売開始。「お米ウオーキング」などの交流イベントを開催。

活動の成果

- 集落の酒屋は、情報発信拠点となり地域活性化に貢献。焼酎製造に伴う原料生産で耕作放棄地が解消。
- 新米ウオーキングは地域内外から多くの参加者で賑わい、野菜の販売等も好評で地域のPRに効果。

今後の方針

- 焼酎「蔓無源氏」や地域特産品「佳例川源流米」の販売促進に努め、持続的な農業生産に取り組む。
- 今後も伝統行事(お田植え祭、はやま祭りなど)の継承に努め、地域住民の連帯感の醸成に努める。

佳例川地区自治公民館

鹿児島県霧島市福山町佳例川1541 Tel : 090-2043-8368 Fax : —

73 鹿児島県 いちき串木野市

はぎもとまえだんち
萩元前団地環境保全会

「農」を守る語らいの輪



農家による児童・保護者への手植え指導



区域内を乱舞する源氏ホタル

経緯

- 耕作放棄地が増え、担い手の育成を検討する中、平成18年から中山間地域直接支払制度をスタート。
- 当初は草払い等の活動が主だったが、農地保全すら難しくなるとの危機感から農家以外も取り込んで活動。

取組内容

- 平成20年から休耕田を活用し、小学生による田植えから収穫、もち加工の一連の農業体験を実施。
- 休耕田での給食米栽培、子供相撲、ホタルの観光活用に向けた生息河川の管理等の活動を展開。

活動の成果

- 農業を核としたコミュニティー組織の形成により、高齢者と子ども達の連帯感が生まれ、見守り・声掛け運動に繋がる。
- ホタル見学に訪れる観光客により、交流人口が増加するとともに、当団体のPRに寄与。

今後の方針

- 当会単体ではなく地区全体を挙げて広域的・多面的な活動となるよう活動組織拡大に取り組む。
- 農業従事者のみでなく、漁業者も保全会活動に参加しているので、更なる人員の確保に努めたい。

いちき串木野市役所農政課

鹿児島県いちき串木野市昭和通133-1 Tel: 0996-33-5636 Fax: 0996-32-3124

74 鹿児島県 志布志市

のいくらなんぶ
野井倉南部保全協議会

～開田の里 コスモスロード～



コスモスロード



コスモス祭りの様子

経緯

- 当協議会は、農業者64名、12の自治会と6つの子供会を構成員とし、平成19年に設立。
- 高齢化に伴い、農地・農業用施設の維持が難しくなり、当協議会を設立し、地域一体の取組を開始。

取組内容

- 農地・水路・農道の維持補修とともに、景観形成として2kmの幹線水路沿い約8haにコスモスを植栽。
- 開花時期に「コスモス祭り」を開催。誘致企業協賛による豚汁の提供、早期米おにぎりのチャリティ販売を実施。

活動の成果

- 先人達が開いた野井倉開田の水田・農地の保全や水路・農道維持補修が図られている。
- コスモス祭りには市内外から多くの観光客が訪れ、志布志市の秋の風物詩となっている。

今後の方針

- 高齢化により、農地等の維持管理はさらに厳しくなると考えられ、農業者以外との共同活動に繋げたい。
- コスモスロードだけでなく、自治会内の空き地等にもコスモス植栽を拡げたい。

野井倉南部保全協議会

鹿児島県志布志市有明町野井倉6312-2 Tel: 099-474-1979 Fax: —

たべた 田部田をまもり隊

～田んぼアート“芸術は、大変だ～”～



田植え風景



田んぼアート

経緯

- 当地区は南九州市の北西、川辺町の中央に位置し、農地の周辺に学校・病院等の公共施設がある。
- 農地・水・環境保全活動に取り組むため、自治会、水利組合、生産組織を構成員とする当団体を設立。

取組内容

- 用水路の管理・補修は、水利組合が主体となり、農道の清掃・管理は自治会中心に実施。
- 生産組織を中心に地元住民や子ども達の参加により、40aの田んぼアートを実施。見学用のやぐらも設置。

活動の成果

- 年間3回の農道の清掃活動、年4回の水路の草刈り・泥上げ作業により農道・水路が適切に管理。
- 田んぼアートの田植えの参加者は年々増加し、近年は200名程参加するなど水田保全のPRIに効果。

今後の方針

- 地域の生産組織が法人化され、ますます地域農業の中心的存在になっていく。
- 田んぼアートを通して多くの地区内外の人々に農業に関心を持ってもらえるよう活動を継続。

田部田をまもり隊

鹿児島県南九州市川辺町田部田3417 Tel : 0993-56-3325 Fax : —

なんさつりょく 南薩力発揮推進協議会

～地域情報を体系化した南薩学を構築し、地域内外に対して学習活動を実施し、交流活動を促進する～

紙芝居DVD「南薩畑かん物語」



デンセンマンによる農家聞き取り



経緯

- 本地区は3町が合併した農村であり、甘藷や茶等の畑かん営農が展開され畑作が卓越。
- 畑作営農基盤の畑かん施設が更新期を迎え、更新事業の円滑な導入が必要。営農体制の再構築も必要。

取組内容

- 南薩畑地かんがい事業の経過や効果をまとめた子供向けの紙芝居DVD「南薩畑かん物語」を制作。
- 地域に密着した情報の収集、発信を強化するために旧町単位で調査員「水土利館デンセンマン」を設置。

活動の成果

- 紙芝居DVDを作成したことにより、これまで以上に楽しく学べる子供向けの学習活動が充実。
- 「水土利館デンセンマン」の活動により地域住民の畑かん事業や地域資源への関心が高められた。

今後の方針

- 地域情報・特性を体系化した南薩学を構築。その情報発信を強化し、南薩農業のサポーターや担い手を育成。
- 畑作を中心とした農業の6次産業化を推進して地域雇用を創出維持し、豊かな暮らしを確保する。

畑の郷水利館

鹿児島県南九州市顛娃町牧之内15025-8 Tel : 0993-36-3911 Fax : 0993-36-3912

77 鹿児島県 南九州市

NPO法人^{えい}顛娃おこそ会

法人番号 1340005006172

～大野岳でのグリーン・ティー・リズムの展開～

茶農家ガイドとともに観光客が茶畑を歩く



大野岳山頂でのお茶振る舞い



経緯

- 当会は商工会の部会を母体に発足。番所鼻・釜蓋(かまふた)地区の観光振興を展開。年間15万人が来訪。
- この観光客に、茶畑に囲まれた景勝地・大野岳にも訪れてもらうよう、茶農家グループ「茶寿会」と提携し活動。

取組内容

- 観光と連携したお茶と大野岳のPR活動、町内各所での茶の振る舞いや茶畑巡りツアーなどを展開。
- 茶農家自身が来訪者へのガイド役と合わせて茶を振る舞う「グリーン・ティー・リズム」を推進。

活動の成果

- 大野岳への来訪者(年間2万5千人)やメディア登場の増加により観光と農業を結び付ける機運が高まった。
- 目下、町内の空き家再生を通じ2件のプロジェクトを動かし企業支援や移住促進といった地方創生に発展。

今後の方針

- 観光6次産業の先進地であるスイスの世界遺産の町ラヴォーを目指して地域づくりを進めている。
- 田園景観と農家及び農業加工品に惹かれ観光客が来訪し、地域経済が潤い、魅力ある町となることを目指す。

NPO法人顛娃おこそ会

鹿児島県南九州市顛娃町別府5202-2Tel : 0993-38-1883 Fax :03-6862-9707

78 鹿児島県 さつま町

なかつがわ 中津川区むらづくり委員会

～伝統を引き継ぐ“中津川の底力”～

「金吾様踊り」



経緯

- 担い手不足等に対応するため、農作業受委託組織の充実にむけた活動を行う中、むらづくりの機運が醸成。
- 伝統芸能「金吾様踊り」の継承活動や地元産のさつまいもを使った焼酎づくりに積極的に取り組むこととなった。

取組内容

- 「金吾様踊り」は、当地の領主島津歳久(通称「金吾様」)を祀る神社の大祭に奉納。集落毎の多彩な踊りで構成。
- 伝統を継続させるため、後継者育成、一部踊りの復活、財源確保のための焼酎づくり、日曜朝市等を推進。

活動の成果

- 「金吾様踊り」の維持・発展がなされ、マスコミを通したPRの効果もあり、多くの観客で賑わうようになった。
- 焼酎は着実に製造量が増え、朝市も年々販売高が増え、地区内生産者と地区内外の消費者との交流が促進。

今後の方針

- 「金吾様踊り」は、当地区内のみでの出演団体に限られていたが、地区外の出演団体を募り、交流人口を増やす。
- 「国民文化祭かごしま2015」の郷土芸能祭が当町で開催。全国との交流で伝統芸能の継承・発展に資したい。

さつま町役場

鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地1565-2Tel : 0996-53-1111 Fax :0996-52-3514

79 鹿児島県 南大隅町

社会福祉法人 しらはとかい 白鳩会

法人番号 5340005006573

～農福連携で過疎化になやむ地域おこしを！～

障がい者とともに行うニンニクの植え付け



チャリティコンサート&新茶まつり



経緯

- 知的障がい者の自立支援の社会福祉法人を昭和47年に設立。作業の1つとして地域の主産業の農業を取入れ。
- 更に、障がい者が安心して働き暮らせる場を創るため(農)根占生産組合を設立。農業の企業化に取り組んだ。

取組内容

- 生産組合は45haの農場を経営。養豚、茶、花卉などを生産。家畜糞を作物の肥料に使用する循環型農法を实践。
- 防腐剤不使用のハム・ソーセージ等の食品加工を行い、当農場のブランドで販売。新茶まつりなど交流イベントを開催。

活動の成果

- 経営の規模拡大・安定化で売上は2億円を超え、6名の障がい者雇用を実現。新規就農の受け皿ともなっている。
- イベント開催により過疎地域に元気と憩いの場を提供。消費者と直接繋がる事が新たな商品開発に発展。

今後の方針

- 農場内のレストランなどを活かし、都市住民との農業体験交流を図り、「農福観連携」による地域おこしを目指す。
- 高校等と連携した加工食品の製品開発、原材料等にこだわる地域おこし団体と連携した飲料の開発等を促進。

社会福祉法人 白鳩会 花の木カノン
鹿児島県鹿児島市真砂本町56-12 Tel : 099-255-1330 Fax :099-210-5742

80 鹿児島県 屋久島町

有限会社 やくしま キャンツピ屋久島

法人番号 1340002019846

～縄文杉だけじゃない。樹上から知る島の魅力～

樹上の空中回廊



台湾からのツアー客への説明



経緯

- 屋久島では縄文杉に観光客が集中し、根の踏みつけや登山道幅の広がりが見られ、今後の環境悪化が懸念。
- エコツアーを実施してきた移住者が当社を設立し、平成21年より麓の照葉樹林を空中回廊から眺める新体験を提供。

取組内容

- 空中回廊(全長300m)による鳥や蝶の目線での樹林を巡る新感覚の体験や植物利用の話などを含めて提供。
- 屋久島を訪れる観光客の他、旅行会社のツアーや修学旅行、台湾からのツアー客の体験受入れを積極的に推進。

活動の成果

- 環境配慮型の樹木高層部の非日常の体験が評価。年間2000人の体験受入。観光客の滞在時間延長に貢献。
- 植物を手で触るウォーキングでは、食べ物を自然の葉で「包む」など植物利用の文化の相互理解が生まれた。

今後の方針

- 空中回廊の冒険を通じて、父親と子供の絆を深めてもらうべく、父と子の親子の体験受入れを推進。
- アジアからの観光客には、その国の自然が保持・活用されるよう、自然の楽しみ方や保全する実例、意義を提案。

有限会社 キャンツピ屋久島
鹿児島県熊毛郡屋久島町原677-44 Tel : 0997-49-3232 Fax :0997-47-2593

81 鹿児島県 大和村

やまとそん 大和村食農プロジェクト推進協議会

～首都圏との双方向の交流による食・農・観光の地域資源を活用した6次産業化事業を構築～



ちよだ青空市での加工品の販売



大和村満喫ツアーで魚さばき体験

経緯

- 奄美大島中央部に位置し、タンカン・スモモ主体の農産物を生産。価格が不安定、スモモは日持ちが悪いなどの課題。
- 所得向上を目指し、首都圏との交流による販売促進と地域資源を活用し、6次産業化のため当協議会を設立。

取組内容

- 女性グループが地元食材を発掘しメニュー開発。首都圏にて、青空市へのタンカン等の出店、開発メニューの食事会を開催。
- 島の若者の企画によるイベントと女性グループ手作りの奄美料理を提供するモニターツアーを首都圏の住民を招いて実施。

活動の成果

- 食事会やモニターツアーで高評価を得たことで、集落で消費されていただけの食材等を商品化する機運が高まった。
- モニターツアー利用の民宿がピーターや口ミで客数が増加、開発した加工品が首都圏店舗で販売開始などの効果。

今後の方針

- 地元食材を利用した加工品及び食材メニューの開発を行い付加価値向上や首都圏への直販ルートの整備。
- 観光農業の展開を通じ、農業を柱とする6次産業を確立し、所得向上や交流人口の増で活性化を目指す。

大和村食農プロジェクト推進協議会

鹿児島県大島郡大和村湯湾釜261番地 Tel: 090-4353-4623 Fax: -

82 鹿児島県 喜界町

きかいちょう 喜界町アンテナショップ事業推進協議会

～小粒でもキラリと輝く交流拠点 喜界島大使館～



喜界島大使館で喜界島特産品をPR



島外の祭りへの参加(特産品販売・喜界島のPR)

経緯

- 全国各地の島出身者の店舗を「喜界島大使館」として、特産品販売や観光情報の発信等を平成14年からスタート。
- 平成25年から大使館の地域イベントに物産展を出店し、地方自治体交流へ繋がるなどネットワークの輪が拡大。

取組内容

- 大使館(22店舗)を通じた町広報誌等による情報発信、特産品販売、利用者アンケートを実施。
- 島民郷友会等の人的ネットワークを活用した情報収集による大使館店舗数拡大のための活動を展開。

活動の成果

- 大使館でのポスター掲示や特産品販売による、喜界島のPR、利用者アンケートによる商品開発。
- 各地(東京、栃木、宮崎、鹿児島)の物産展への参加による地域間交流の深化及び地域活性化。

今後の方針

- 全国展開の大使館の規模充実・対象地域拡大を行い、島特産品の販路拡大・喜界島PRとして活用。
- ふるさとの良さを子どもにも知ってもらい、島内の人たちにも喜界島の魅力を再発見して貰いたい。

喜界町アンテナショップ事業推進協議会

鹿児島県大島郡喜界町湾1298番地 Tel: 0997-65-1288 Fax: 0997-65-3666

あごん 阿権むらづくり委員会

～阿権元気村！阿権大好きパワーは日本一！～

稲作体験(田植えから餅つきまで)の伝承



婦人会主催のまちあるき



経緯

- 当地区は、伊仙町西部に位置し、サウキビ・馬鈴薯等の営農が盛んな農業地域。一集落一小学校区という特性。
- 高齢化が進む中、世代間交流や伝統文化の継承のため、各世代・全住民を含めた当委員会を平成22年に設立。

取組内容

- 元旦の「合同歳の祝い」等の伝統行事の継承、小学校と連携した稲作や黒糖づくり体験等の活動を展開。
- 旧家の屋敷や石垣、樹齢300年のガジュマル等を保全。農家民宿、カフェと連動し、住民の交流・憩いの場を形成。

活動の成果

- 子どもから高齢者まで集落行事に参加することで、子どもを集落全体で育てる環境が生まれ、郷土愛が醸成。
- 集落資源が新たな名所となるほか、農家民宿やカフェ等の各施設の来客も増加し、集落住民との交流が拡大。

今後の方針

- 活動を継続発展し、女性や長寿者のパワーをさらに生かした共生・協働の郷土(ふるさと)づくりに取り組む。
- 農家民宿を増やし、農業体験の受け入れや伝統料理の提供等で、都市農村交流を推進。

阿権むらづくり委員会

鹿児島県大島郡伊仙町伊仙1842 Tel: 0997-86-4651 Fax: 0997-86-2373